

平成 31 年 4 月 18 日  
消 防 庁

## 消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）及び消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件（案）に対する意見公募の結果及び改正告示の公布

消防庁は、消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）及び消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件（案）の内容について、平成 31 年 1 月 22 日から平成 31 年 2 月 20 日までの間、国民の皆様から広く意見を公募したところ、41 件の御意見がございました。この結果を踏まえて、本日、「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件」及び「消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件」（以下「改正告示」という。）を公布しましたのでお知らせします。

### 1 主な改正内容

#### 1 点検結果報告書様式及び点検票様式における印鑑の簡素化について

消防用設備等の点検結果報告書様式及び点検票様式において、報告義務者である防火対象物の関係者以外の者にまで押印を求めているところ、当該者については消防機関において本人確認を行う法的必要性が無いことから、当該者の押印を不要とし、㊟マークを削除することとした。

#### 2 点検結果報告書様式における記載内容の見直しについて

点検結果報告書様式において、点検結果報告時に必ずしも確認の必要がない項目や記載すべき内容が明確でない項目があったこと等の課題を踏まえ、点検結果報告書様式の記載内容の見直しを行うこととした。

#### 3 工業標準化法の一部改正に伴う改正について

不正競争防止法等の一部を改正する法律（平成 30 年法律第 33 号。平成 31 年 7 月 1 日施行予定。）による工業標準化法の一部改正に伴い、各様式備考中「日本工業規格」を「日本産業規格」に改めることとした。

## 2 意見公募の結果

消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）及び消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件（案）の内容について、平成31年1月22日から平成31年2月20日までの間、意見を公募したところ、41件の御意見がございました。

いただいた御意見及び総務省の考え方は、別紙1のとおりです。

## 3 改正告示の公布

消防庁では、意見公募の結果を踏まえて検討し、改正告示を平成31年4月18日に公布しました。

- ・改正告示の概要 別紙2
- ・改正告示の新旧対照表 別紙3



（事務連絡先）

消防庁予防課 塩谷課長補佐、田中係長  
村田課長補佐、池田事務官

TEL 03-5253-7523（直通）

FAX 03-5253-7533

【消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式の一部を改正する件（案）及び消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式の一部を改正する件（案）に対して提出された御意見及び御意見に対する考え方】

番号	御意見の概要	御意見に対する考え方	提出意見を踏まえた案の修正の有無
No. 1	平成 16 年消防庁告示第 9 号（以下「16 年告示」という。）の別記様式第 1 に「防火管理者」欄及び「点検統括責任者」欄を追加してほしい。	16 年告示の別記様式第 2 に「防火管理者」欄及び「点検実施責任者」欄があり、また、昭和 50 年消防庁告示第 14 号（以下「50 年告示」という。）の各点検票に「防火管理者」欄があるため、これらの記載で足りると考えられることから、原案のとおりとします。	無
No. 2	防火対象物の関係者以外の押印の省略については賛成であるが、点検の義務者以外の者について、本人確認の必要がないのであれば記名そのものもなくしてもよいのではないかと考える。	防火管理者及び立会者が、消防用設備等の点検結果を確認していただくことは、消防法第 8 条に基づく防火管理者の義務やより適切かつ確実な点検の実施等の観点から重要であるため、引き続き記名欄を設けたいと考えます。また、点検者についても、適切かつ確実な点検の実施等の観点から、誰が点検をしたのかを明確にすることは重要であるため、引き続き記名欄を設けたいと考えます。	無
No. 3	16 年告示別記様式第 1 に「点検年月日」欄を追加してほしい。	「点検年月日」欄につきましては、16 年告示別記様式第 2 号及び 50 年告示の各点検票に記載欄があることから、原案のとおりとします。	無

No. 4	16年告示別記様式第1に「次回点検報告年月」欄を追加してほしい。	50年告示の別記様式第1の左上に点検報告年月日を記入することとなっており、消防法令に基づき特定防火対象物にあつては1年、非特定防火対象物にあつては3年ごとに報告をすることになっていることから、次回報告年月日は分かるため、原案のとおりとします。	無
No. 5	点検者については、16年告示別記様式第1又は別記様式第3に記名することにより、50号告示の各点検票への記名を無くしてはどうか。	50年告示の各点検票に点検者の記名欄があるため、16年告示別記様式第1の点検者の記名欄は削除することとしています。また、同告示別記様式第3は、消防設備士又は消防設備点検資格者（以下「有資格者」という。）が点検を行った場合に当該有資格者の資格の種類や交付年月日等の詳細情報を確認するためのものであり、有資格者以外の者が点検を実施した場合には添付されないことから、50年告示の各点検票の点検者の記名欄は必要があると考えため、原案のとおりとします。	無
No. 6	防火管理者の記名については、50年告示各点検票の添付を省略する場合に添付している16年告示の別記様式第2の「点検結果総括表」を利用して、点検票の省略を行わない場合においても総括表を添付することとし、50年告示各点検票への記名を無くしてはどうか。	16年告示別記様式第2については、同告示第4に規定しているとおり、消防長又は消防署長が認める場合は、別記様式第2及び別記様式第3を添付することにより、50年告示の各点検票の添付を省略可能としているため、別記様式第2の添付をもって各点検票の記名を削除する必要はないと考えます。	無

No. 7	<p>印鑑の簡素化により、電子申請への環境整備・報告率の改善・報告負担の軽減等を重視するあまり、報告様式で重視すべき「責任を明示し責任履行を担保する機能」が減じられており、報告内容を点検する消防機関の事務処理の負担増につながり、結果として事業所や報告義務者の負担増になることを懸念する。</p> <p>また、届出者以外の押印者は必要最小限の者に限定することは望まれるが、本人確認を行う法的必要性はないものとして、「防火対象物の関係者以外の者（点検者、立会者及び防火管理者）」が明記され、これらについて押印は不要としていることについて、これらの者は、点検報告制度において本当に本人確認を行う必要性がない者なのか危惧される。</p>	<p>消防法第 17 条の 3 の 3 に基づき報告を行うことを義務付けられている者は、防火対象物の所有者、管理者又は占有者であり、消防長又は消防署長が報告書を受領する場合には、報告を行う防火対象物の関係者からの報告であることを押印により確認することが必要ですが、点検者、立会者及び防火管理者については、同法に基づく報告が義務付けられている者ではないため、押印による本人確認は必要ないと考えます。なお、適切かつ確実に点検が実施されていることが確認できるように、これらの者の記名欄は引き続き設ける予定であり、本改正によって、責任が明示されずに消防本部の事務量が増加するなどの問題は生じないものと考えます。</p>	無
No. 8	<p>本改正案が即日施行されると、パニックになると考えられるため、3～6ヶ月の猶予期間の設定をお願いしたい。</p>	<p>御意見を踏まえ、改正前の様式についても本改正案の施行後6ヶ月は使用できるように経過措置を設けます。</p>	有
No. 9	<p>16年告示の様式として、報告義務者の自律的な改善を促すために、不良内容や措置内容を具体的に記入できるように点検の結果に不良があった場合の改修（計画）表を追加してほしい。</p>	<p>50年告示の各点検票の様式において、不良内容と措置内容の記入欄があり、報告までに措置できない場合は、改修予定を記入するなどにより対応することが可能であることから、原案のとおりとします。</p> <p>なお、当該欄に記入しきれない場合は、任意の様式を添付し、報告することも差し支えありません。</p>	無

No. 10	<p>16年告示別記様式第1について、「消防用設備等（特殊消防設備等）の種類等」欄において、現在考えられる設備がすべて列挙された様式となっているが、今後も消防法施行令（昭和36年政令第37号）第29条の4の安全性能を有する消防用設備の増加が考えられることや、市町村等の運用等で条例が定められている設備等について消防点検時に報告することもあるため、従来どおり空白とすることが望ましい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「消防用設備等（特殊消防設備等）の種類等」欄は現行のとおり空白とし、欄の枠を広げることで対応します。</p>	有
No. 11	<p>16年告示別記様式第2について、悪徳点検業者を無くすためにも、総括表は表示登録会員が使用できる様式であることを明記していただきたい。</p>	<p>16年告示第4に規定しているとおり、消防長又は消防署長が認める場合は、同告示別記様式第2及び別記様式第3を添付することにより、50年告示の各点検票の添付を省略可能としており、当該様式は一部の事業者のみが使用できる様式という位置付けではありません。</p>	無
No. 12	<p>16年告示別記様式第3に「電気工事士等」欄を設けてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、16年告示別記様式第3に備考欄を追記します。</p>	有
No. 13	<p>16年告示別記様式第3号について、取得後5年後に再講習を受講すると改めて免状が与えられ、再講習の受講年月日と交付年月日は同じ日付となるため、再講習受講状況は削除していただきたい。</p>	<p>御意見を踏まえ、「再講習受講年月」を「有効期限」に変更します。</p>	有

No. 14	<p>点検結果報告書への「有資格者点検／要・不要」欄の新設は、無資格者による点検を強調することとなり、資格が無くてもよいから自由に点検を実施しても良いとする誤解等が生じ、適正な点検の実施に大きな影響を及ぼす可能性や有資格者による点検の形骸化を促進させる懸念がある。</p>	<p>改正案の「有資格者点検／要・不要」欄については、平成 31 年 10 月以降、150 m<sup>2</sup>未満の小規模飲食店などに消火器具の設置義務化される予定であり、自ら点検を実施する関係者の増加が見込まれることから設けたものですが、有資格者点検の要否については防火対象物の用途や床面積から判断できること等を踏まえ、削除するものとします。</p> <p>なお、小規模飲食店などにおいて防火対象物の関係者自ら消火器具の点検を実施する場合においても適切に行えるように、写真やイラスト等を用いて点検方法や報告書の記載方法を解説したリーフレットやアプリを作成しています。</p>	有
No. 15	<p>無資格者点検は点検者全員を記載しなくてもよいが、有資格者点検では点検者全員について資格種別や講習受講経歴等を詳細に記載することになっているため、点検報告様式等に点検実施者の記載で不公平が生じている。</p>	<p>有資格者による点検は、資格の種類によって点検可能な消防用設備等が異なることや定期的に講習を受講する必要があることから、16 年告示別記様式第 3 に有資格者の情報を記載する必要がありますが、有資格者以外が点検を実施した場合はその確認をする必要がないことから、16 年告示別記様式第 3 は必要ないと考えています。</p> <p>また、資格の有無を問わず点検実施者は、50 年告示の各点検票の「点検者」欄に記載することとしていることから、不公平が生じているとは考えておりません。</p>	無

No. 16	<p>動力消防ポンプ設備点検票の燃料欄等において、単位として筆記体のリットル（「ℓ」）が用いられているが、国際単位系等ではブロック体のリットル（「L又はl」）を用いることとなっており、ブロック体のリットルを用いるべきでは無いか。</p>	<p>各点検票において、ブロック体のリットル及び筆記体のリットルが混在していることから、ブロック体のリットル（「L」）を用いて統一的に記載するように案を修正します。</p>	有
No. 17	<p>50年告示の各点検票の「点検者」欄の資格情報については、16年告示の別記様式第3の点検者一覧表に記載するため不要にしてほしい。</p>	<p>御意見を踏まえ、50年告示の各点検票における「点検者の資格番号」欄を削除します。</p>	有
No. 18	<p>報告書の消火器の種類として、粉末消火器の「加圧式」及び「蓄圧式」の欄を別々に設けてほしい。</p>	<p>蓄圧式消火器と加圧式消火器の点検項目にはほとんど差異が無く、蓄圧式と加圧式の設置数等の内訳については50年告示別記様式第1（その2）の下段に記載可能であるため、原案のとおりとします。</p>	無
No. 19	<p>50年告示別記様式第1中「耐震措置」欄を「転倒防止措置」欄と修正してほしい。</p>	<p>50年告示の別記様式の各点検項目の欄は、点検基準の内容に従ったものであるため、原案のとおりとします。</p>	無
No. 20	<p>50年告示別記様式第1（消火器の点検票）において、どの消火器を放射試験したのか不明であるため、現在、消火器設置一覧を作成して対応しているが、点検票に加えて「消火器一覧」を創設していただきたい。</p>	<p>より適切な管理をするという観点から、現在運用されているように御意見のような任意の様式（一覧表）を添付し、報告していただくことは差し支えないと考えており、また、消火器の設置本数等は防火対象物の規模等に応じて様々であることから、法令上、提出が必要な様式として定める必要はないものと考えます。</p>	無



No. 21	点検報告書様式及び点検票様式における印鑑の簡素化及び点検報告書様式における記載内容の見直しについて賛成である。	賛成意見として承ります。	無
No. 22	点検報告書における更なる押印の簡略化及び点検報告書の電子申請化を強く希望する。	今後の検討を行う上で参考とさせていただきます。	無
No. 23	<p>次のとおり消防用設備等に関する点検方法の見直しを希望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンテナンスフリー消火器を規格化することによる点検方法の簡素化。</li> <li>・消火器における使用済みの表示装置の点検方法の簡素化。</li> <li>・屋内消火栓設備における逃し配管の点検方法の簡素化。</li> <li>・スプリンクラー設備における補助散水栓の放水量点検の簡素化。</li> <li>・泡消火設備におけるP F O S非含有泡消火薬剤に対する放射試験に代わるサンプリング検査の導入。</li> <li>・自動火災報知設備における感度試験の簡素化（試験感知器個数の制限、光電式煙感知器の対象除外）。</li> <li>・自動火災報知設備における音響装置の音圧・鳴動方式の点検方法の簡素化。</li> <li>・非常警報設備におけるスピーカーの音量調整器の点検方法の簡素化。</li> <li>・非常電源（自家発電設備）における負荷運転及び内</li> </ul>	本改正の内容に関する御意見ではありませんが、今後の検討を行う上で参考とさせていただきます。	無

	部観察等に代わる費用のかからない点検方法への改善。		
--	---------------------------	--	--

○意見提出者数：41件

※1 提出意見数は、意見提出者数としています。

※2 その他、案について全く言及しておらず、案と無関係と判断されるものが1件ありました。

※3 とりまとめの都合上、いただいた御意見は要約し、類似する意見をとりとめる等の整理をしています。

昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を改正する件及び平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）の一部を改正する件について

平成31年4月  
消防庁予防課

【概要】

- 1 点検結果報告書様式及び点検票様式における印鑑の簡素化について  
消防用設備等の点検結果報告書様式及び点検票様式において、報告義務者である防火対象物の関係者以外の者にまで押印を求めているところ、当該者については消防機関において本人確認を行う法的必要性が無いことから、当該者の押印を不要とし、㊟マークを削除することとした。
- 2 点検結果報告書様式における記載内容の見直しについて  
点検結果報告書様式において、点検結果報告時に必ずしも確認の必要がない項目や記載すべき内容が明確でない項目があったこと等の課題を踏まえ、点検結果報告書様式の記載内容の見直しを行うこととした。
- 3 工業標準化法の一部改正に伴う改正について  
不正競争防止法等の一部を改正する法律（平成30年法律第33号。平成31年7月1日施行予定。）による工業標準化法の一部改正に伴い、各様式備考中「日本工業規格」を「日本産業規格」に改めることとした。

【施行期日】

公布の日

ただし、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改める部分は、平成31年7月1日。

○消防庁告示第五号

平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に依じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）第四の規定に基づき、昭和五十年消防庁告示第十四号（消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式）の一部を次のように改正する。

平成三十一年四月十八日

消防庁長官 黒田武一郎

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

改正後

改正前

別記様式第1

(その1)

消火器具点検票																																																																																																																																																																																												
名称	所在	点検種別	機器点検 氏名	点検年月日	年	月	日	TEL	防火 管理者 立会者	措置内容																																																																																																																																																																																		
											点検者 所属会社	社名 住所																																																																																																																																																																																
点検項目																																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="6">点検結果</th> <th rowspan="2">措置内容</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> <th>判定</th> <th>不良内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置間隔</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置応答性</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>状況耐震措置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示・標識</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体容器</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全栓の封栓</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全全検</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済みの表示装置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>押し金具・レバー等</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キヤップ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル・ホーン・ノズル栓</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指示圧力計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力調整器</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全全弁</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保持装置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車輪(車載式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス導入管(車載式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											設置場所	点検結果						措置内容	A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	設置間隔									設置応答性									状況耐震措置									表示・標識									本体容器									安全栓の封栓									安全全検									使用済みの表示装置									押し金具・レバー等									キヤップ									ホース									ノズル・ホーン・ノズル栓									指示圧力計									圧力調整器									安全全弁									保持装置									車輪(車載式)									ガス導入管(車載式)								
設置場所	点検結果						措置内容																																																																																																																																																																																					
	A	B	C	D	E	F		判定	不良内容																																																																																																																																																																																			
設置間隔																																																																																																																																																																																												
設置応答性																																																																																																																																																																																												
状況耐震措置																																																																																																																																																																																												
表示・標識																																																																																																																																																																																												
本体容器																																																																																																																																																																																												
安全栓の封栓																																																																																																																																																																																												
安全全検																																																																																																																																																																																												
使用済みの表示装置																																																																																																																																																																																												
押し金具・レバー等																																																																																																																																																																																												
キヤップ																																																																																																																																																																																												
ホース																																																																																																																																																																																												
ノズル・ホーン・ノズル栓																																																																																																																																																																																												
指示圧力計																																																																																																																																																																																												
圧力調整器																																																																																																																																																																																												
安全全弁																																																																																																																																																																																												
保持装置																																																																																																																																																																																												
車輪(車載式)																																																																																																																																																																																												
ガス導入管(車載式)																																																																																																																																																																																												

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消火器具の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは酸化炭素消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第1

(その1)

消火器具点検票																																																																																																																																																																																												
名称	所在	点検種別	機器点検 資格 番号 氏名	点検年月日	年	月	日	TEL	防火 管理者 立会者	措置内容																																																																																																																																																																																		
											点検者 所属会社	社名 住所																																																																																																																																																																																
点検項目																																																																																																																																																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="6">点検結果</th> <th rowspan="2">措置内容</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> <th>E</th> <th>F</th> <th>判定</th> <th>不良内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置間隔</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置応答性</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>状況耐震措置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表示・標識</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本体容器</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全栓の封栓</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全全検</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済みの表示装置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>押し金具・レバー等</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>キヤップ</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル・ホーン・ノズル栓</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指示圧力計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>圧力調整器</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安全全弁</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保持装置</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>車輪(車載式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガス導入管(車載式)</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											設置場所	点検結果						措置内容	A	B	C	D	E	F	判定	不良内容	設置間隔									設置応答性									状況耐震措置									表示・標識									本体容器									安全栓の封栓									安全全検									使用済みの表示装置									押し金具・レバー等									キヤップ									ホース									ノズル・ホーン・ノズル栓									指示圧力計									圧力調整器									安全全弁									保持装置									車輪(車載式)									ガス導入管(車載式)								
設置場所	点検結果						措置内容																																																																																																																																																																																					
	A	B	C	D	E	F		判定	不良内容																																																																																																																																																																																			
設置間隔																																																																																																																																																																																												
設置応答性																																																																																																																																																																																												
状況耐震措置																																																																																																																																																																																												
表示・標識																																																																																																																																																																																												
本体容器																																																																																																																																																																																												
安全栓の封栓																																																																																																																																																																																												
安全全検																																																																																																																																																																																												
使用済みの表示装置																																																																																																																																																																																												
押し金具・レバー等																																																																																																																																																																																												
キヤップ																																																																																																																																																																																												
ホース																																																																																																																																																																																												
ノズル・ホーン・ノズル栓																																																																																																																																																																																												
指示圧力計																																																																																																																																																																																												
圧力調整器																																																																																																																																																																																												
安全全弁																																																																																																																																																																																												
保持装置																																																																																																																																																																																												
車輪(車載式)																																																																																																																																																																																												
ガス導入管(車載式)																																																																																																																																																																																												

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 消火器具の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは酸化炭素消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第1

消火器具（その2）

備考	機 器 名		型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	本 体 容 器 等	内 筒 表 示	液 面 表 示	消 火 剤 状 態	消 火 剤 量	加 圧 用 ガ ス 容 器	カ ッ タ ー ・ 押 し 金 具	ホ ー ス	開 閉 式 / ノズル ・ 切 替 式 / ノズル	指 示 圧 力 計	使 用 済 み の 表 示 装 置	圧 力 調 整 器	安 全 弁 ・ 減 圧 孔 (掛 止 栓 を 含 む。)	粉 上 り 防 止 用 封 板	パ ン ク キ	サイ ホツ 管 ・ ガ ス 導 入 管	ろ 過	故 射 能 力	消 火 器 の 耐 圧 性 能	噴 火 器 用 外 筒 形 等	噴 火 器 用 水 量
	機 器 名	型 式																												

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。こと。

2 消火器の種類欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは油化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物質消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択枚のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第1

消火器具（その2）

備考	機 器 名		型 式	校正年月日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校正年月日	製 造 者 名	本 体 容 器 等	内 筒 表 示	液 面 表 示	消 火 剤 状 態	消 火 剤 量	加 圧 用 ガ ス 容 器	カ ッ タ ー ・ 押 し 金 具	ホ ー ス	開 閉 式 / ノズル ・ 切 替 式 / ノズル	指 示 圧 力 計	使 用 済 み の 表 示 装 置	圧 力 調 整 器	安 全 弁 ・ 減 圧 孔 (掛 止 栓 を 含 む。)	粉 上 り 防 止 用 封 板	パ ン ク キ	サイ ホツ 管 ・ ガ ス 導 入 管	ろ 過	故 射 能 力	消 火 器 の 耐 圧 性 能	噴 火 器 用 外 筒 形 等	噴 火 器 用 水 量
	機 器 名	型 式																												

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。こと。

2 消火器の種類欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは油化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物質消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択枚のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第2

(その1)

屋内消火栓設備点検票									
名称	防火管理者 立会者								
所在地	点検年月日			年 月 日 ~ 年 月 日					
点検種別	機器・総合資格 氏名	点検者 所属会社	社名 住所	TEL					
点検者 点検名	製造者名 ポンプ 型式等		製造者名 電動機 型式等						
点検項目									
機器				点検			結果		
種類・容量等の内容				判定			不良内容		
				措置内容					
貯水									
種類									
水量									
水	m <sup>3</sup>								
水									
給水	水装置								
水	位置								
圧力	計								
圧力	計								
パル	種類								
周囲の状況									
外形									
表示									
加圧	電圧計・電流計			V A					
ポンプ	電動機								
送水	開閉器・スイッチ類			A					
制御	ヒューズ類								
水	継電器								
方	表示灯								
装置	結線								
式	接地			種接地					
装置	子			備品等					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の票措置した内容を記入すること。

別記様式第2

(その1)

屋内消火栓設備点検票									
名称	防火管理者 立会者								
所在地	点検年月日			年 月 日 ~ 年 月 日					
点検種別	機器・総合資格 氏名	点検者 所属会社	社名 住所	TEL					
点検者 点検名	製造者名 ポンプ 型式等		製造者名 電動機 型式等						
点検項目									
機器				点検			結果		
種類・容量等の内容				判定			不良内容		
				措置内容					
貯水									
種類									
水量									
水	m <sup>3</sup>								
水									
給水	水装置								
水	位置								
圧力	計								
圧力	計								
パル	種類								
周囲の状況									
外形									
表示									
加圧	電圧計・電流計			V A					
ポンプ	電動機								
送水	開閉器・スイッチ類			A					
制御	ヒューズ類								
水	継電器								
方	表示灯								
装置	結線								
式	接地			種接地					
装置	子			備品等					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の票措置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備 (その2)

加圧ポンプ送水装置	起動装置		周囲の状況		MPa	MPa	MPa	MPa		
	遠隔起動部	機	周囲の状況	機						
									機	専用 兼用
電	回	軸	形							
機	軸	継	手							
機	機	機	形							
外	回	軸	形							
ボ	回	軸	形							
ポ	回	軸	形							
ン	回	軸	形							
方	回	軸	形							
式	回	軸	形							
装	回	軸	形							
置	回	軸	形							
性	回	軸	形							
架	回	軸	形							
水	回	軸	形							
槽	回	軸	形							
方	回	軸	形							
式	回	軸	形							
減	回	軸	形							
圧	回	軸	形							
の	回	軸	形							
た	回	軸	形							
め	回	軸	形							
の	回	軸	形							
措	回	軸	形							
置	回	軸	形							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。

別記様式第2

屋内消火栓設備 (その2)

加圧ポンプ送水装置	起動装置		周囲の状況		MPa	MPa	MPa	MPa		
	遠隔起動部	機	周囲の状況	機						
									機	専用 兼用
電	回	軸	形							
機	軸	継	手							
機	機	機	形							
外	回	軸	形							
ボ	回	軸	形							
ポ	回	軸	形							
ン	回	軸	形							
方	回	軸	形							
式	回	軸	形							
装	回	軸	形							
置	回	軸	形							
性	回	軸	形							
架	回	軸	形							
水	回	軸	形							
槽	回	軸	形							
方	回	軸	形							
式	回	軸	形							
減	回	軸	形							
圧	回	軸	形							
の	回	軸	形							
た	回	軸	形							
め	回	軸	形							
の	回	軸	形							
措	回	軸	形							
置	回	軸	形							

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。





別記様式第3

(その1)

スプリンクラー設備点検票									
名称								防火	
所在								管理者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	日	立会者		
点検者	氏名	点検者所属会社	社名	T E L					
点検設備名	ポンプ	製造者名	電動機・内蔵機器	製造者名					
	型式等								
点検項目	機器	点検結果	判定	不良内容	措置内容	種別・容量等の内容			
						貯水	槽	種別	容量
水 源 (水道の用に供給する水管を水源とするものを除く。)									
貯水 量 状 況 m <sup>3</sup>									
水 給 水 装 置 水 位 計 圧 力 計 パ ル プ 類									
周囲の状況 電 動 機 外 表 示 電 圧 計 ・ 電 流 計 V A 回 転 計 r/min 開 閉 器 ・ ス イ ッ チ 類 ヒ ュ ム ー ス 類 A 継 電 器 電 器 示 燈 結 線 接 地 種 接 地 種 接 地									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 強圧装置のある種は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第3

(その1)

スプリンクラー設備点検票									
名称								防火	
所在								管理者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	日	立会者		
点検者	資格 氏名	点検者所属会社	社名	T E L					
点検設備名	ポンプ	製造者名	電動機・内蔵機器	製造者名					
	型式等								
点検項目	機器	点検結果	判定	不良内容	措置内容	種別・容量等の内容			
						貯水	槽	種別	容量
水 源 (水道の用に供給する水管を水源とするものを除く。)									
貯水 量 状 況 m <sup>3</sup>									
水 給 水 装 置 水 位 計 圧 力 計 パ ル プ 類									
周囲の状況 電 動 機 外 表 示 電 圧 計 ・ 電 流 計 V A 回 転 計 r/min 開 閉 器 ・ ス イ ッ チ 類 ヒ ュ ム ー ス 類 A 継 電 器 電 器 示 燈 結 線 接 地 種 接 地 種 接 地									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 強圧装置のある種は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その2)

減圧のための措置	周囲の状況		MPa	MPa		
	形状	示能				
	力	圧				
備考 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4とすること。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。	手操作部					
	自動式起動機					
	起動用圧力					
	圧力					
	動作圧力					
	専用					
	兼用					
	感知器					
	閉鎖型					
	開放型					
	火知覚感度					
	SPヘッド					
	外形					
	電動機・内燃機関					
	軸受部					
軸継手						
燃料						
後部						
外形						
回転部						
受部						
ラジエーター部						
連成計・圧力計						
性能						
MPa /min						
ℓ						
呼入						
バルブ						
自動給水装置						
減水警報装置						
性能試験装置						
貯水						
補助水						
給水						
バルブ						
高圧						
MPa						
MPa						

別記様式第3

スプリンクラー設備(その2)

減圧のための措置	周囲の状況		MPa	MPa		
	形状	示能				
	力	圧				
備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。	手操作部					
	自動式起動機					
	起動用圧力					
	圧力					
	動作圧力					
	専用					
	兼用					
	感知器					
	閉鎖型					
	開放型					
	火知覚感度					
	SPヘッド					
	外形					
	電動機・内燃機関					
	軸受部					
軸継手						
燃料						
後部						
外形						
回転部						
受部						
ラジエーター部						
連成計・圧力計						
性能						
MPa /min						
ℓ						
呼入						
バルブ						
自動給水装置						
減水警報装置						
性能試験装置						
貯水						
補助水						
給水						
バルブ						
高圧						
MPa						
MPa						

別記様式第3 ストリンクラー設備(その3)

配管等	管継手								
	支持金具・つり金具								
	パルプ装置								
	ろ過装置								
	逃し配管								
	流水検知装置二次側配管								
	標識								
	周囲の状況								
	外形								
	送水口								
ストリンクラーヘッド	外形								
	感熱障害								
	散水分布障害								
	未警戒部分								
	適応性								
	パルプ本体等								
	リターデインジ・チャンバー								
	圧力スイッチ								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
排水検知装置	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
補助散水栓箱等	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
耐震措置	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の整備した内容を記入すること。

別記様式第3 ストリンクラー設備(その3)

配管等	管継手								
	支持金具・つり金具								
	パルプ装置								
	ろ過装置								
	逃し配管								
	流水検知装置二次側配管								
	標識								
	周囲の状況								
	外形								
	送水口								
ストリンクラーヘッド	外形								
	感熱障害								
	散水分布障害								
	未警戒部分								
	適応性								
	パルプ本体等								
	リターデインジ・チャンバー								
	圧力スイッチ								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
排水検知装置	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
補助散水栓箱等	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
耐震措置	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								
	排水検知装置								
	圧力検知装置								
	音響警報装置・表示装置								
	減圧警報装置								
	一斉開放弁(電磁弁を含む)								

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の整備した内容を記入すること。

別紙様式第3 スプリングブレーキ設備(その4)

総 合 点 検							
閉鎖型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力	MPa					
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力	MPa					
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力	MPa					
開放型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力						
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力						
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力						
開放型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力						
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力						
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力						
開放型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力						
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力						
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 半尺欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 運転状況のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別紙様式第3 スプリングブレーキ設備(その4)

総 合 点 検							
閉鎖型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力	MPa					
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力	MPa					
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力	MPa					
開放型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力						
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力						
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力						
開放型スプリングブレーキ装置等	加圧送水装置						
	表示・警報等						
	電動機の運転電流	A					
ポンプ方式	運転状況						
	水圧力						
高架水槽等	減圧のための措置						
	表示・警報等						
	放水圧力						
本方道連結式	減圧のための措置						
	放水圧力						

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 半尺欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 運転状況のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その5)

備 考	水 栓 機 等	高 方 架 式 水 槽	減 圧 の た め の 措 置	表示・警報等																
				放水	水	圧	力	MPa												
				放水	水	圧	力	MPa												
				放水	水	量		L/min												
				放水	水	量		L/min												
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
備 考	補 助 機 器	ボ ン プ 機 等	起 動 性 能 等	電 動 機 の 運 転 電 流	A															
					加 圧 送 水 装 置	表 示 ・ 警 報 等														
							運 転 状 況													
								水 圧 力												
									水 量											
										減 圧 の た め の 措 置										
											表 示 ・ 警 報 等									
												放 水								
													水							
														圧						
力																				
	MPa																			
		L/min																		
			L/min																	
				機 器 名	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型						式	校正年月日	製造者名			
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名					型	式	校正年月日	製造者名		
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型				式	校正年月日	製造者名			
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式			校正年月日	製造者名				
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日		製造者名					
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名						
機 器 名					型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名							
機 器 名	型				式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名								
機 器 名	型	式			校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名									
機 器 名	型	式	校正年月日		製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名										

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択技のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

スプリンクラー設備(その5)

備 考	水 栓 機 等	高 方 架 式 水 槽	減 圧 の た め の 措 置	表示・警報等																
				放水	水	圧	力	MPa												
				放水	水	圧	力	MPa												
				放水	水	量		L/min												
				放水	水	量		L/min												
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
				減圧のための措置																
備 考	補 助 機 器	ボ ン プ 機 等	起 動 性 能 等	電 動 機 の 運 転 電 流	A															
					加 圧 送 水 装 置	表 示 ・ 警 報 等														
							運 転 状 況													
								水 圧 力												
									水 量											
										減 圧 の た め の 措 置										
											表 示 ・ 警 報 等									
												放 水								
													水							
														圧						
力																				
	MPa																			
		L/min																		
			L/min																	
				機 器 名	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型						式	校正年月日	製造者名			
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名					型	式	校正年月日	製造者名		
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型				式	校正年月日	製造者名			
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式			校正年月日	製造者名				
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日		製造者名					
					機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名						
機 器 名					型	式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名							
機 器 名	型				式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名								
機 器 名	型	式			校正年月日	製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名									
機 器 名	型	式	校正年月日		製造者名	機 器 名	型	式	校正年月日	製造者名										

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択技のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第4

水噴霧消火設備点検票

(その1)

名称				防火 管理者	
所在				立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL	
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名 住所		
点検設備名	ポンプ	製造者名	電動機	製造者名	
	型式等		型式等		
点検項目			点検結果	不良内容	措置内容
機器			点検	判定	
貯水	槽	種別			
水	量	m <sup>3</sup>			
水	状				
給水	装置				
水	位	計			
圧	力	計			
バル	ブ	種類			
加ボ	周囲の状況				
	外	形			
電	表	示			
電	圧	計・電流計	V	A	
機	開	閉器・スイッチ類			
の	ヒ	ューズ類	A		
制	繼	電			
御	電	器			
方	装	示			
装	結	接			
式	接	地			
置	予	備			
置	品	等			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の票措置した内容を記入すること。

別記様式第4

水噴霧消火設備点検票

(その1)

名称				防火 管理者	㊸
所在				立会者	㊹
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL	
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名 住所		
点検設備名	ポンプ	製造者名	電動機	製造者名	
	型式等		型式等		
点検項目			点検結果	不良内容	措置内容
機器			点検	判定	
貯水	槽	種別			
水	量	m <sup>3</sup>			
水	状				
給水	装置				
水	位	計			
圧	力	計			
バル	ブ	種類			
加ボ	周囲の状況				
	外	形			
電	表	示			
電	圧	計・電流計	V	A	
機	開	閉器・スイッチ類			
の	ヒ	ューズ類	A		
制	繼	電			
御	電	器			
方	装	示			
装	結	接			
式	接	地			
置	予	備			
置	品	等			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の票措置した内容を記入すること。





別記様式第4

水噴霧消火設備 (その3)

備考	外形								
	水噴霧器								
	分散部								
	警戒本体等								
	水流検知装置								
	水流検知装置								
	リカーブディズク・チャソバ								
	MPa								
	圧力								
	圧力								
	MPa								
	MPa								
	MPa								
総合点検									
設置設備	排水溝・集水管								
排水設備	排水溝・集水管								
消火ピット									
付属									
ボンプ	加圧送水装置								
ポンプ	加圧送水装置								
電動機等	表示・警報等								
電動機等	電動機の運転電流		A						
運転状況									
方式	斉開放弁								
方式	斉開放弁								
方式	減圧のための措置								
方式	減圧のための措置								
方式	表示・警報等								
方式	表示・警報等								
方式	斉開放弁								
方式	斉開放弁								
方式	減圧のための措置								
方式	減圧のための措置								
備考									
機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名
測定機器									
測定機器									

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第4

水噴霧消火設備 (その3)

備考	外形								
	水噴霧器								
	分散部								
	警戒本体等								
	水流検知装置								
	水流検知装置								
	リカーブディズク・チャソバ								
	MPa								
	圧力								
	圧力								
	MPa								
	MPa								
	総合点検								
設置設備	排水溝・集水管								
排水設備	排水溝・集水管								
消火ピット									
付属									
ボンプ	加圧送水装置								
ポンプ	加圧送水装置								
電動機等	表示・警報等								
電動機等	電動機の運転電流		A						
運転状況									
方式	斉開放弁								
方式	斉開放弁								
方式	減圧のための措置								
方式	減圧のための措置								
方式	表示・警報等								
方式	表示・警報等								
方式	斉開放弁								
方式	斉開放弁								
方式	減圧のための措置								
方式	減圧のための措置								
備考									
機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名
測定機器									
測定機器									

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第5

(その1)

泡消火設備点検票									
名称	防火管理者		防火立会者						
所在	氏名		会社名		TEL				
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	資格	番号	点検者所属会社	住所					
点検項目	ポンプ	製造者名	型式等	電動機	製造者名	型式等	泡消火薬剤混合装置	製造者名	型式等
	点検・容量等の内容 判定 不良 内容 措置 内容								
機器点検									
貯水	槽量	種別							
水	量	m <sup>3</sup>							
水	状態								
給水	装置								
水	位置								
圧力	計								
バルブ	状況								
加圧ポンプの制御装置	周囲の状況								
	外形								
	表示								
電動機	電圧計・電流計	V	A						
	開閉器・スイッチ類								
	ヒューズ類	A							
ケーブル	電線								
	表示灯								
	接続線								
接地	種接地								
	予備品等								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第5

(その1)

泡消火設備点検票									
名称	防火管理者		防火立会者						
所在	氏名		会社名		TEL				
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	資格	番号	点検者所属会社	住所					
点検項目	ポンプ	製造者名	型式等	電動機	製造者名	型式等	泡消火薬剤混合装置	製造者名	型式等
	点検・容量等の内容 判定 不良 内容 措置 内容								
機器点検									
貯水	槽量	種別							
水	量	m <sup>3</sup>							
水	状態								
給水	装置								
水	位置								
圧力	計								
バルブ	状況								
加圧ポンプの制御装置	周囲の状況								
	外形								
	表示								
電動機	電圧計・電流計	V	A						
	開閉器・スイッチ類								
	ヒューズ類	A							
ケーブル	電線								
	表示灯								
	接続線								
接地	種接地								
	予備品等								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第5

消防火設備 (その2)

加圧ポンプ式水装置	手操式	周囲の状況			
	動作	外形			
	起動部	機能			
	自動開閉	圧力スイッチ	設定圧力	MPa	
	動作式水圧開閉機	起動用圧力カタンク		MPa	
	装置	機能	作動圧力	MPa	
	位置	感知器	専用	兼用	
	火知装置	開閉型SP			
	装置	へッド			
	外形	形状			
	電動	回転部			
	軸	受部			
	軸継手	機能			
	機	形状			
	外形	形状			
	ポンプ	回転部			
	軸	受部			
	アランプ部	連成計・圧力計			
	性能	能	MPa	L/min	
呼水	槽		L		
バルブ	類				
自動給水	装置				
減水	警報装置				
装置	アト弁				
性能試験	装置				
高架水	槽方式	MPa			
圧力	水槽方式	MPa			
減圧	のための措置				
配管	・管継手				
支持	金具・つり金具				
バルブ	類				
配管	アンプ				
通過	装置				
配管	速し				

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・符号等の内容は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第5

消防火設備 (その2)

加圧ポンプ式水装置	手操式	周囲の状況			
	動作	外形			
	起動部	機能			
	自動開閉	圧力スイッチ	設定圧力	MPa	
	動作式水圧開閉機	起動用圧力カタンク		MPa	
	装置	機能	作動圧力	MPa	
	位置	感知器	専用	兼用	
	火知装置	開閉型SP			
	装置	へッド			
	外形	形状			
	電動	回転部			
	軸	受部			
	軸継手	機能			
	機	形状			
	外形	形状			
	ポンプ	回転部			
	軸	受部			
	アランプ部	連成計・圧力計			
	性能	能	MPa	L/min	
呼水	槽		ℓ		
バルブ	類				
自動給水	装置				
減水	警報装置				
装置	アト弁				
性能試験	装置				
高架水	槽方式	MPa			
圧力	水槽方式	MPa			
減圧	のための措置				
配管	・管継手				
支持	金具・つり金具				
バルブ	類				
配管	アンプ				
通過	装置				
配管	速し				

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・符号等の内容は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第5

泡消火設備（その3）

泡消火設備等	泡消火薬劑貯藏槽							
	消火薬劑計	L						
	圧力	MPa						
	バルブ類							
	外	形						
	混合装置							
	薬劑混合装置							
	加圧送液装置							
	外	形						
	泡放出障害							
泡放出口	未警戒部分							
	バルブ本体等	MPa						
	リターンバルブ・チェンバー							
	圧力検知装置・表示装置							
圧力検知装置・表示装置	設定圧力	MPa						
	作動圧力	MPa						
音響警報装置・表示装置								
一斉開放弁（電磁弁を含む。）								
防護区画（高圧泡を用いる設備に限る。）	区画変更等							
	開口部の自動閉鎖装置							
非常停止装置（高圧泡を用いる設備に限る。）								
泡放射用器具格納箱等	周囲の状況							
	泡放射用器具格納箱	形						
	外	形						
	ホース	ホースノズル径 mm × 本 mm						
	ホースの耐圧性能							
ホース接続口								
開閉弁								
表示灯								
耐震措置								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の事前置した内容を記入すること。

別記様式第5

泡消火設備（その3）

泡消火設備等	泡消火薬劑貯藏槽							
	消火薬劑計	ℓ						
	圧力	MPa						
	バルブ類							
	外	形						
	混合装置							
	薬劑混合装置							
	加圧送液装置							
	外	形						
	泡放出障害							
泡放出口	未警戒部分							
	バルブ本体等	MPa						
	リターンバルブ・チェンバー							
	圧力検知装置・表示装置							
圧力検知装置・表示装置	設定圧力	MPa						
	作動圧力	MPa						
音響警報装置・表示装置								
一斉開放弁（電磁弁を含む。）								
防護区画（高圧泡を用いる設備に限る。）	区画変更等							
	開口部の自動閉鎖装置							
非常停止装置（高圧泡を用いる設備に限る。）								
泡放射用器具格納箱等	周囲の状況							
	泡放射用器具格納箱	形						
	外	形						
	ホース	ホースノズル径 mm × 本 mm						
	ホースの耐圧性能							
ホース接続口								
開閉弁								
表示灯								
耐震措置								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の事前置した内容を記入すること。

別記様式第5

泡消火設備 (その4)

総合点検										
固定式の泡消火設備	ポンプ方式	駆動性能等	加圧送水装置							
		電動機の運転電流	表示・警報等							
	ポンプ方式	運転状況	減圧のための措置							
		一斉開放弁	表示・警報等							
	高架構造方式等	分布等	低発泡を用いるもの							
		減圧のための措置	高発泡を用いるもの							
	移動式の泡消火設備	ポンプ方式	駆動性能等	加圧送水装置						
			電動機の運転電流	表示・警報等						
	高架構造方式等	ポンプ方式	運転状況	減圧のための措置						
			減圧のための措置	表示・警報等						
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 識別記のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第5

泡消火設備 (その4)

総合点検										
固定式の泡消火設備	ポンプ方式	駆動性能等	加圧送水装置							
		電動機の運転電流	表示・警報等							
	ポンプ方式	運転状況	減圧のための措置							
		一斉開放弁	表示・警報等							
	高架構造方式等	分布等	低発泡を用いるもの							
		減圧のための措置	高発泡を用いるもの							
	移動式の泡消火設備	ポンプ方式	駆動性能等	加圧送水装置						
			電動機の運転電流	表示・警報等						
	高架構造方式等	ポンプ方式	運転状況	減圧のための措置						
			減圧のための措置	表示・警報等						
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 識別記のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第6

(その1)

不活性ガス（二酸化炭素、窒素、IG-55、IG-541）消火設備点検票(区画名： ) (設備方式: 全城・局所・移動)

（設置方式: 全城・局所・移動）

名称	防火管理者	点検年月日	年 月 日	点検者	防火管理者	点検年月日	年 月 日	点検者	防火管理者						
	防火管理者				防火管理者										
住所	TEL		住所		TEL		住所		TEL						
点検者	氏名	資格番号	住所		氏名	資格番号	住所		氏名	資格番号					
点検項目										点検結果		不良内容		措置内容	
機器・容量等の内容判定										機器点検					

消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	安全性	数量	本			
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - ※印のあるものは、(その5) に装置ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第6

(その1)

不活性ガス（二酸化炭素、窒素、IG-55、IG-541）消火設備点検票(区画名： ) (設備方式: 全城・局所・移動)

（設置方式: 全城・局所・移動）

名称	防火管理者	点検年月日	年 月 日	点検者	防火管理者	点検年月日	年 月 日	点検者	防火管理者						
	防火管理者				防火管理者										
住所	TEL		住所		TEL		住所		TEL						
点検者	氏名	資格番号	住所		氏名	資格番号	住所		氏名	資格番号					
点検項目										点検結果		不良内容		措置内容	
機器・容量等の内容判定										機器点検					

消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	安全性	数量	本			
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					
消火剤貯蔵容器等	型式	高圧	容器弁開放装置	外形	電気式					
			安全装置	外形	安全性					
			容器弁開放装置	外形	電気式					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - ※印のあるものは、(その5) に装置ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第6				不活性ガス消火設備 (その2)	
選択弁	本体	外形示能機			
	開放装置	電気式			
操作管・逆止弁		ガス圧式			
機械					
起動装置	手動式	周囲の状況			
		換作箱			
	電動式	電源表示灯			
		音響報知起動用スイッチ			
装置	保護カバー	放出用・非常停止用スイッチ			
		表示灯			
	自起動装置	防火感知装置	専用	兼用	
		自動・手動切替装置			
警報装置					
制御	外音周	警報形状			
		音周の状況			
	電気開閉器・スイッチ類	圧計	V		
		ヒューズ继电器	A		
警報制御	接続線	示灯			
		接線地			
	遅延装置	設置地			
		自動・手動切替機能			秒
警報制御装置					
予備品等					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択弁のある種は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。

別記様式第6				不活性ガス消火設備 (その2)	
選択弁	本体	外形示能機			
	開放装置	電気式			
操作管・逆止弁		ガス圧式			
機械					
起動装置	手動式	周囲の状況			
		換作箱			
	電動式	電源表示灯			
		音響報知起動用スイッチ			
装置	保護カバー	放出用・非常停止用スイッチ			
		表示灯			
	自起動装置	防火感知装置	専用	兼用	
		自動・手動切替装置			
警報装置					
制御	外音周	警報形状			
		音周の状況			
	電気開閉器・スイッチ類	圧計	V		
		ヒューズ继电器	A		
警報制御	接続線	示灯			
		接線地			
	遅延装置	設置地			
		自動・手動切替機能			秒
警報制御装置					
予備品等					

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択弁のある種は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。

別記様式第6

不活性ガス消火設備 (その3)

配管・管継手				
管支持金具・つり金具				
管止め				
配管の安全装置	安全装置			
配管の安全装置	破壊板			
消火剤等排出措置				
圧力上昇防止措置				
放出表示灯				
噴射ヘッド	外形			
防区	放射障害等			
防護区	開口部			
防護区	電気で作動するもの			
防護区	ガス圧で作動するもの			
防護区	設定範囲			
防護区	消火剤排出措置			
防護区	放出表示灯			
防護区	外形			
防護区	警報装置	音声警報		
防護区	警報装置	音声警報		
防護区	注意			
非常電源	外形			
非常電源	端子電圧	V		
非常電源	切替装置			
非常電源	充電装置			
非常電源	充電線接続			
非常電源	周囲の状況			
非常電源	周囲の状況			
非常電源	格納箱	m		
非常電源	ホースリール			
非常電源	ホースリール			
非常電源	ホースリール			
非常電源	ホースリール			
非常電源	表示灯・標識 (移動式)			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置箇所を記入すること。

別記様式第6

不活性ガス消火設備 (その3)

配管・管継手				
管支持金具・つり金具				
管止め				
配管の安全装置	安全装置			
配管の安全装置	破壊板			
消火剤等排出措置				
圧力上昇防止措置				
放出表示灯				
噴射ヘッド	外形			
防区	放射障害等			
防護区	開口部			
防護区	電気で作動するもの			
防護区	ガス圧で作動するもの			
防護区	設定範囲			
防護区	消火剤排出措置			
防護区	放出表示灯			
防護区	外形			
防護区	警報装置	音声警報		
防護区	警報装置	音声警報		
防護区	注意			
非常電源	外形			
非常電源	端子電圧	V		
非常電源	切替装置			
非常電源	充電装置			
非常電源	充電線接続			
非常電源	周囲の状況			
非常電源	周囲の状況			
非常電源	格納箱	m		
非常電源	ホースリール			
非常電源	ホースリール			
非常電源	ホースリール			
非常電源	表示灯・標識 (移動式)			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置箇所を記入すること。



別記様式第6 不活性ガス消火設備（その4）

総合点検		総合点検		
全滅放出方式・局所放出方式	警報装置	秒		
全滅放出方式	遅延装置			
	開口部の自動閉鎖装置等			
局所放出方式	起動装置・選択弁			
	配管・配管接続部			
局所放出方式	放出表示灯			
	警報装置			
局所放出方式	起動装置・選択弁			
	配管・配管接続部			
移動式	ノース・ホース閉弁			
移動式	ホース・ホース接続部			
備考				
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択後のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第6 不活性ガス消火設備（その4）

総合点検		総合点検		
全滅放出方式・局所放出方式	警報装置	秒		
全滅放出方式	遅延装置			
	開口部の自動閉鎖装置等			
局所放出方式	起動装置・選択弁			
	配管・配管接続部			
局所放出方式	放出表示灯			
	警報装置			
局所放出方式	起動装置・選択弁			
	配管・配管接続部			
移動式	ノース・ホース閉弁			
移動式	ホース・ホース接続部			
備考				
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択後のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第6

番号 容器番号	二酸化炭素の場合			その他の消火剤	不活性ガス消火設備 (その5)			
	全質量 (kg)	空質量 (kg)	消火剤量 (kg)		点検年月日及び容器表面温度			
				充てん 圧力 (20°C) (MPa)	年 月 日 °C	年 月 日 °C	年 月 日 °C	年 月 日 °C
					点検時の消火材料 (kg)		又は容器内圧力 (MPa)	

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

別記様式第6

番号 容器番号	二酸化炭素の場合			その他の消火剤	不活性ガス消火設備 (その5)			
	全質量 (kg)	空質量 (kg)	消火剤量 (kg)		点検年月日及び容器表面温度			
				充てん 圧力 (20°C) (MPa)	年 月 日 °C	年 月 日 °C	年 月 日 °C	年 月 日 °C
					点検時の消火剤量 (kg)		又は容器内圧力 (MPa)	

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。





別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管等	支持金具・つり金具				
配管の安全装置等	安全装置破壊板				
消火剤等	排出措置				
圧力上昇防止措置					
放出表示灯					
噴射ヘッド	外形				
放射障害					
防区画変更等					
開口部の自閉閉鎖装置	電気で作動するもの				
ガス圧で作動するもの					
外形	形状				
非常電源端子電圧	V				
端子電圧					
充電装置					
充電装置					
結線接続					
周囲の状況					
納入箱	m				
ホースリール					
ホースリール					
表示灯・標識(移動式)					
耐震措置					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4にすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の整備した内容を記入すること。

別記様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その3)

配管等	支持金具・つり金具				
配管の安全装置等	安全装置破壊板				
消火剤等	排出措置				
圧力上昇防止措置					
放出表示灯					
噴射ヘッド	外形				
放射障害					
防区画変更等					
開口部の自閉閉鎖装置	電気で作動するもの				
ガス圧で作動するもの					
外形	形状				
非常電源端子電圧	V				
端子電圧					
充電装置					
充電装置					
結線接続					
周囲の状況					
納入箱	m				
ホースリール					
ホースリール					
表示灯・標識(移動式)					
耐震措置					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4にすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の整備した内容を記入すること。

別紙様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その4)

総合検査									
警報装置	位置	秒							
全滅放出方式・局所放出方式	全滅放出方式								
警報装置	位置	秒							
開口部の自動閉鎖装置									
起動装置・選択弁									
配管・配管接続部									
放出表示灯									
警報装置	位置								
起動装置・選択弁									
配管・配管接続部									
移動式	ノズル開閉	非							
ホース・ホース接続部									
備考									
機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名
測定機器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択装置のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の整備置した内容を記入すること。

別紙様式第7

ハロゲン化物消火設備 (その4)

総合検査									
警報装置	位置	秒							
全滅放出方式・局所放出方式	全滅放出方式								
警報装置	位置	秒							
開口部の自動閉鎖装置									
起動装置・選択弁									
配管・配管接続部									
放出表示灯									
警報装置	位置								
起動装置・選択弁									
配管・配管接続部									
移動式	ノズル開閉	非							
ホース・ホース接続部									
備考									
機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名
測定機器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択装置のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の整備置した内容を記入すること。









別記様式第8 粉未消火設備 (その3)

配管等	管	継手					
支持金具等	管	つり金具					
配管の安全装置等	安全装置	破壊板					
	放出表示灯	形状					
噴射ヘッド	外形	形状					
	放射障害						
防護区画	変更等						
	開口部の自動閉鎖装置	電気で作動するもの					
外形	表示形						
	非常電源端子電圧	V					
充電装置	接続線						
	周囲の状況						
ホース	規格	収納箱					
	ホースリール	m					
表示灯・標識 (移動式)	開弁						
	耐震措置						

- 備考
- この目録の大きさは、日本標準規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 追加欄のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指図内容欄には、点検の添付画した内容を記入すること。

別記様式第8 粉未消火設備 (その3)

配管等	管	継手					
支持金具等	管	つり金具					
配管の安全装置等	安全装置	破壊板					
	放出表示灯	形状					
噴射ヘッド	外形	形状					
	放射障害						
防護区画	変更等						
	開口部の自動閉鎖装置	電気で作動するもの					
外形	表示形						
	非常電源端子電圧	V					
充電装置	接続線						
	周囲の状況						
ホース	規格	収納箱					
	ホースリール	m					
表示灯・標識 (移動式)	開弁						
	耐震措置						

- 備考
- この目録の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 追加欄のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指図内容欄には、点検の添付画した内容を記入すること。

別記様式第8 粉末消火設備 (その4)

総 合 点 検											
全滅放出方式・局所放出方式	警 報 装 置	遅 延 装 置	秒								
全滅放出方式	開口部の自動閉鎖装置等										
局所放出方式	起動装置・選択弁										
局所放出方式	配管・配管接続部										
局所放出方式	配管・配管接続部										
局所放出方式	放 出 表 示 灯										
局所放出方式	警 報 装 置										
局所放出方式	起動装置・選択弁										
局所放出方式	配管・配管接続部										
移動式	ノズル開閉弁										
移動式	ホース・ホース接続部										
備											
考											
機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名

備考 1 この目録の大きさは、日本工業規格A4とする。こと。  
 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択装置のある種別は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 指置内容欄には、点検の記録した内容を記入すること。

別記様式第8 粉末消火設備 (その4)

総 合 点 検											
全滅放出方式・局所放出方式	警 報 装 置	遅 延 装 置	秒								
全滅放出方式	開口部の自動閉鎖装置等										
局所放出方式	起動装置・選択弁										
局所放出方式	配管・配管接続部										
局所放出方式	配管・配管接続部										
局所放出方式	放 出 表 示 灯										
局所放出方式	警 報 装 置										
局所放出方式	起動装置・選択弁										
局所放出方式	配管・配管接続部										
移動式	ノズル開閉弁										
移動式	ホース・ホース接続部										
備											
考											
機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校正年月日	製造者名

備考 1 この目録の大きさは、日本工業規格A4とする。こと。  
 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択装置のある種別は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 指置内容欄には、点検の記録した内容を記入すること。

別記様式第8

粉末消火設備 (その5)

番号	容器番号	全質量 (kg)		空質量 (kg)		加圧用・ 起動用ガス 質量 (kg)	点検年月日			点検時加圧用・ 起動用ガス質量 (kg)													
		(容器弁を含む)																					

備考 この用紙の大きさは、日本標準規格A4とすること。

別記様式第8

粉末消火設備 (その5)

番号	容器番号	全質量 (kg)		空質量 (kg)		加圧用・ 起動用ガス 質量 (kg)	点検年月日			点検時加圧用・ 起動用ガス質量 (kg)													
		(容器弁を含む)																					

備考 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

別記様式第9

屋外消火栓設備点検票

(その1)

名称					防火管理者	
所在					防火立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	TEL
点検者	氏名	点検者所属会社	住所	社名	TEL	
点検備名	ポンプ	製造者名	型式等	電動機	製造者名	型式等
	点検項目					
機器		点検結果		不良内容		措置内容
貯水		槽量		種別		
水		m <sup>3</sup>				
給水		装置				
水		位置				
圧力		計				
バルブ		種類				
周囲の状況						
外形		形状				
電圧計・電流計		V		A		
電圧計・電流計		V		A		
開閉器・スイッチ類		A				
ヒューズ類						
継電器						
表示灯						
接続線						
接地		種接地				
予備品等						

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第9

屋外消火栓設備点検票

(その1)

名称					防火管理者	
所在					防火立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	TEL
点検者	氏名	点検者所属会社	住所	社名	TEL	
点検備名	ポンプ	製造者名	型式等	電動機	製造者名	型式等
	点検項目					
機器		点検結果		不良内容		措置内容
貯水		槽量		種別		
水		m <sup>3</sup>				
給水		装置				
水		位置				
圧力		計				
バルブ		種類				
周囲の状況						
外形		形状				
電圧計・電流計		V		A		
電圧計・電流計		V		A		
開閉器・スイッチ類		A				
ヒューズ類						
継電器						
表示灯						
接続線						
接地		種接地				
予備品等						

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第9

屋外消火栓設備 (その2)

備考	加圧送水装置		形状	MPa
	ポンプ	電動機		
	回転軸	軸		
	軸受部			
	軸継手			
	機械			
	外形	形状		
	回転軸			
	軸受部			
	グランド部			
	連続計・圧力計			
	性能	MPa L/min		
	呼吸水	槽	L	
	バルブ	種類		
	自動給水装置			
	減水警報装置			
	性能試験装置	弁		
	高架水槽方式		MPa	
	減圧のための装置	方式	MPa	
	管・管継手	種類		
	支持金具・つり金具			
	バルブ	種類		
	管	種類		
	透過	装置		
	速度	配管		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第9

屋外消火栓設備 (その2)

備考	加圧送水装置		形状	MPa
	ポンプ	電動機		
	回転軸	軸		
	軸受部			
	軸継手			
	機械			
	外形	形状		
	回転軸			
	軸受部			
	グランド部			
	連続計・圧力計			
	性能	MPa L/min		
	呼吸水	槽	ℓ	
	バルブ	種類		
	自動給水装置			
	減水警報装置			
	性能試験装置	弁		
	高架水槽方式		MPa	
	減圧のための装置	方式	MPa	
	管・管継手	種類		
	支持金具・つり金具			
	バルブ	種類		
	管	種類		
	透過	装置		
	速度	配管		

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第9

屋外消火栓設備 (その3)

屋外消火栓設備等	屋外消火栓箱	位置・周囲の状況							
	表示形								
屋外消火栓設備等	ホース・ノズル	外形	ホース径 mm						
	周囲の状況								
屋外消火栓設備等	屋外消火栓	外形							
	消火栓開閉弁								
耐震措置	始動表示灯								
	耐震措置								
総 合 点 検									
加圧送水装置	加圧送水装置								
	表示・警報等								
電動機等	電動機の運転電流		A						
	運転状況								
放水方式	放水	水圧	MPa						
	放水	水量	L/min						
高架水槽方式・圧力水槽方式	放水	水圧	MPa						
	放水	水量	L/min						
備考	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	
	測定機器								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 測定値は、正負の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択後のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第9

屋外消火栓設備 (その3)

屋外消火栓設備等	屋外消火栓箱	位置・周囲の状況							
	表示形								
屋外消火栓設備等	ホース・ノズル	外形	ホース径 mm						
	周囲の状況								
屋外消火栓設備等	屋外消火栓	外形							
	消火栓開閉弁								
耐震措置	始動表示灯								
	耐震措置								
総 合 点 検									
加圧送水装置	加圧送水装置								
	表示・警報等								
電動機等	電動機の運転電流		A						
	運転状況								
放水方式	放水	水圧	MPa						
	放水	水量	L/min						
高架水槽方式・圧力水槽方式	放水	水圧	MPa						
	放水	水量	L/min						
備考	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	
	測定機器								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 測定値は、正負の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択後のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第10

(その1)

動力消防ポンプ設備点検票					防火 管理者 立会者																																																																																																		
名称																																																																																																							
所在																																																																																																							
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL																																																																																																			
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名	住所																																																																																																			
	製造者名																																																																																																						
点検名	本体 型式等																																																																																																						
点検項目		点検結果		措置内容																																																																																																			
機器		判別・容量等の内容		不良内容																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>周回</th> <th>水の状況</th> <th>等</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>貯槽</td> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>給水</td> <td>装置</td> <td>状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>源</td> <td>水</td> <td>装置</td> <td>状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吸管投入</td> <td rowspan="2">採水口</td> <td>周囲の状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸管投入</td> <td>本体</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">孔・採水口</td> <td rowspan="2">採水口</td> <td>周囲の状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開閉弁</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>油</td> <td>種類</td> <td>L</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内燃機</td> <td>外部</td> <td>解凍液</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電池</td> <td>端子</td> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>起動</td> <td>力伝達</td> <td>装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機関</td> <td>冷却</td> <td>ラジエーター等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸排気</td> <td>装置</td> <td>ラジエーター等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本</td> <td>空気</td> <td>潤滑</td> <td>剤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポン</td> <td>ポン</td> <td>自動</td> <td>停止</td> <td>スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プ</td> <td>作</td> <td>器</td> <td>類</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						周回	水の状況	等				水	貯槽	容量	m <sup>3</sup>			水	給水	装置	状況			源	水	装置	状況			吸管投入	採水口	周囲の状況				吸管投入	本体			孔・採水口	採水口	周囲の状況				開閉弁				燃料	油	種類	L			内燃機	外部	解凍液				電池	端子	電圧	V			起動	力伝達	装置				機関	冷却	ラジエーター等				吸排気	装置	ラジエーター等				本	空気	潤滑	剤			ポン	ポン	自動	停止	スイッチ		プ	作	器	類		
周回	水の状況	等																																																																																																					
水	貯槽	容量	m <sup>3</sup>																																																																																																				
水	給水	装置	状況																																																																																																				
源	水	装置	状況																																																																																																				
吸管投入	採水口	周囲の状況																																																																																																					
		吸管投入	本体																																																																																																				
孔・採水口	採水口	周囲の状況																																																																																																					
		開閉弁																																																																																																					
燃料	油	種類	L																																																																																																				
内燃機	外部	解凍液																																																																																																					
電池	端子	電圧	V																																																																																																				
起動	力伝達	装置																																																																																																					
機関	冷却	ラジエーター等																																																																																																					
吸排気	装置	ラジエーター等																																																																																																					
本	空気	潤滑	剤																																																																																																				
ポン	ポン	自動	停止	スイッチ																																																																																																			
プ	作	器	類																																																																																																				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第10

(その1)

動力消防ポンプ設備点検票					防火 管理者 立会者																																																																																																		
名称																																																																																																							
所在																																																																																																							
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL																																																																																																			
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名	住所																																																																																																			
	氏名																																																																																																						
点検名	本体 型式等																																																																																																						
点検項目		点検結果		措置内容																																																																																																			
機器		判別・容量等の内容		不良内容																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>周回</th> <th>水の状況</th> <th>等</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水</td> <td>貯槽</td> <td>容量</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>給水</td> <td>装置</td> <td>状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>源</td> <td>水</td> <td>装置</td> <td>状況</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">吸管投入</td> <td rowspan="2">採水口</td> <td>周囲の状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸管投入</td> <td>本体</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">孔・採水口</td> <td rowspan="2">採水口</td> <td>周囲の状況</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開閉弁</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>燃料</td> <td>油</td> <td>種類</td> <td>ℓ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内燃機</td> <td>外部</td> <td>解凍液</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電池</td> <td>端子</td> <td>電圧</td> <td>V</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>起動</td> <td>力伝達</td> <td>装置</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機関</td> <td>冷却</td> <td>ラジエーター等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>吸排気</td> <td>装置</td> <td>ラジエーター等</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本</td> <td>空気</td> <td>潤滑</td> <td>剤</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポン</td> <td>ポン</td> <td>自動</td> <td>停止</td> <td>スイッチ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プ</td> <td>作</td> <td>器</td> <td>類</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						周回	水の状況	等				水	貯槽	容量	m <sup>3</sup>			水	給水	装置	状況			源	水	装置	状況			吸管投入	採水口	周囲の状況				吸管投入	本体			孔・採水口	採水口	周囲の状況				開閉弁				燃料	油	種類	ℓ			内燃機	外部	解凍液				電池	端子	電圧	V			起動	力伝達	装置				機関	冷却	ラジエーター等				吸排気	装置	ラジエーター等				本	空気	潤滑	剤			ポン	ポン	自動	停止	スイッチ		プ	作	器	類		
周回	水の状況	等																																																																																																					
水	貯槽	容量	m <sup>3</sup>																																																																																																				
水	給水	装置	状況																																																																																																				
源	水	装置	状況																																																																																																				
吸管投入	採水口	周囲の状況																																																																																																					
		吸管投入	本体																																																																																																				
孔・採水口	採水口	周囲の状況																																																																																																					
		開閉弁																																																																																																					
燃料	油	種類	ℓ																																																																																																				
内燃機	外部	解凍液																																																																																																					
電池	端子	電圧	V																																																																																																				
起動	力伝達	装置																																																																																																					
機関	冷却	ラジエーター等																																																																																																					
吸排気	装置	ラジエーター等																																																																																																					
本	空気	潤滑	剤																																																																																																				
ポン	ポン	自動	停止	スイッチ																																																																																																			
プ	作	器	類																																																																																																				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。



別記様式第10 動力消防ポンプ設備 (その2)

車台装置・搬送装置		備		総		合		点		検				
装	吸管・ストレーナー													
積	外	ホース	ノズル径											
載	ホース・ノズル等	ホースの耐圧性能	m×mm											
器	は	し	こ											
具	破壊器具その他の器具													
備														
考														
機	器	名	型	式	校	三	年	月	日	製	造	者	名	
測	定	機	器	名	型	式	校	正	年	月	日	製	造	者
機	器	名	型	式	校	三	年	月	日	製	造	者	名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本標準規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第10 動力消防ポンプ設備 (その2)

車台装置・搬送装置		備		総		合		点		検				
装	吸管・ストレーナー													
積	外	ホース	ノズル径											
載	ホース・ノズル等	ホースの耐圧性能	m×mm											
器	は	し	こ											
具	破壊器具その他の器具													
備														
考														
機	器	名	型	式	校	三	年	月	日	製	造	者	名	
測	定	機	器	名	型	式	校	正	年	月	日	製	造	者
機	器	名	型	式	校	三	年	月	日	製	造	者	名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。



別記様式第11 自動火災報知設備 (その2)

外形	警 戒 区 域								
	未 警 戒 区 域								
感 知 器	機 能 障 害								
	ス ポ ッ ト 型	差動電圧(再)	熱アナログ						
知 器	※ 熱 感 知 器	空 気 管 式							
	分 有 型	熱電対式・熱半導体式							
知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン・光電	アナログ						
	※ 炎 感 知 器		赤外線 紫外線						
知 器	※ 多 信 号 感 知 器 ・ 複 合 式 感 知 器								
	遠 隔 試 験 機 能 を 有 す る 感 知 器								
信 機	外 形								
	表 示								
機 機	押 し ボ タ ン ・ 送 受 話 器								
	表 示 灯								
音 響 装 置	外 形								
	取 付 状 態								
※ 音 響 装 置	鳴 動 方 式	一斉区分相互再鳴動							
	※ 音 響 装 置								
※ 二 信 号 機 能									

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 通知のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第11 自動火災報知設備 (その2)

外形	警 戒 区 域								
	未 警 戒 区 域								
感 知 器	機 能 障 害								
	ス ポ ッ ト 型	差動電圧(再)	熱アナログ						
知 器	※ 熱 感 知 器	空 気 管 式							
	分 有 型	熱電対式・熱半導体式							
知 器	ス ポ ッ ト 型	イオン・光電	アナログ						
	※ 炎 感 知 器		赤外線 紫外線						
知 器	※ 多 信 号 感 知 器 ・ 複 合 式 感 知 器								
	遠 隔 試 験 機 能 を 有 す る 感 知 器								
信 機	外 形								
	表 示								
機 機	押 し ボ タ ン ・ 送 受 話 器								
	表 示 灯								
音 響 装 置	外 形								
	取 付 状 態								
※ 音 響 装 置	鳴 動 方 式	一斉区分相互再鳴動							
	※ 音 響 装 置								
※ 二 信 号 機 能									

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 通知のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第11 自動火災報知設備 (その3)

子備電源・非常電源					
自動試験機	受信機の火災表示				
	受信機の注意表示				
	受信機・中継器の制御機・電路				
機能	感知器				
	感知器回路・ベル回路				
無線機					
総 合 点 検					
同時動作動					
※煙感知器等の感度					
地区音響装置の音圧					
※総合	作	動			

備考	
----	--

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
加熱試験器				メーカーリレー機器			
測定加煙試験器				※感知器動作試験機			
外部試験器							
感知器用試験機							
検光ファイブター							

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 強制点検のある種別は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - ※中※の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第11 自動火災報知設備 (その3)

子備電源・非常電源					
自動試験機	受信機の火災表示				
	受信機の注意表示				
	受信機・中継器の制御機・電路				
機能	感知器				
	感知器回路・ベル回路				
無線機					
総 合 点 検					
同時動作動					
※煙感知器等の感度					
地区音響装置の音圧					
※総合	作	動			

備考	
----	--

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
加熱試験器				メーカーリレー機器			
測定加煙試験器				※感知器動作試験機			
外部試験器							
感知器用試験機							
検光ファイブター							

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 強制点検のある種別は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - ※中※の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第11の2

ガス漏れ火災警報設備点検票

(その1)

名称				防火管理者 立会者
所在地	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL
点検種別	氏名	点検者 所属会社	社名 住所	
点検者	資格	番号	①	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名 住所	
点検種別	資格	番号	②	
点検者	製造者名 型式等	中継器 型式等	製造者名 型式等	
点検種別	受信機 型式等	点検 結果	判定 不良内容	措置 内容
点検項目	機器 点検			
予備電源・非常電源 (内蔵型)	外形表示			
端子端子電圧		V		
端切替装置				
充電電圧				
接続状況				
周囲の状況				
外形表示				
警戒区域の表示装置				
電圧計		V		
ヒューズ類		A		
継電器				
通話装置				
接続地				
付属装置				
ガス漏れ表示				
回路表示				
故障表示				
予備品等				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択状のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の添付置した内容を記入すること。

別記様式第11の2

ガス漏れ火災警報設備点検票

(その1)

名称				防火管理者 立会者
所在地	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL
点検種別	資格	番号	①	
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名 住所	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名 住所	
点検種別	資格	番号	②	
点検者	製造者名 型式等	中継器 型式等	製造者名 型式等	
点検種別	受信機 型式等	点検 結果	判定 不良内容	措置 内容
点検項目	機器 点検			
予備電源・非常電源 (内蔵型)	外形表示			
端子端子電圧		V		
端切替装置				
充電電圧				
接続状況				
周囲の状況				
外形表示				
警戒区域の表示装置				
電圧計		V		
ヒューズ類		A		
継電器				
通話装置				
接続地				
付属装置				
ガス漏れ表示				
回路表示				
故障表示				
予備品等				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択状のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の添付置した内容を記入すること。

別記様式第11の2

ガス漏れ火災警報設備（その2）

ガス漏れ火災警報設備	外形	警戒部分											
		未警戒部分											
	構成	設置場所・設置位置											
		検知状況	応答性										
	検知器	動作	動作										
		動作	動作										
	警報装置	ガス漏れ表示灯	形状										
			取付状態										
			検知区域										
	警報装置	増幅器、操作部	形状										
取付状態													
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
総 合 点 検													
同時動作	動												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
備 考													
機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名						
加ガス試験器													
測定機器													

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択投のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第10の2

ガス漏れ火災警報設備（その2）

ガス漏れ火災警報設備	外形	警戒部分											
		未警戒部分											
	構成	設置場所・設置位置											
		検知状況	応答性										
	検知器	動作	動作										
		動作	動作										
	警報装置	ガス漏れ表示灯	形状										
			取付状態										
			検知区域										
	警報装置	増幅器、操作部	形状										
取付状態													
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
警報装置	増幅器、操作部	形状											
		取付状態											
総 合 点 検													
同時動作	動												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
検知区域	警報装置												
備 考													
機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名						
加ガス試験器													
測定機器													

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
- 2 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択投のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第12

(その1)

漏電火災警報器点検票									
名称								防火 管理者	
所在								立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名	TEL					
点検者	氏名	点検者 住所							
点検名	受信機	製造者名 型式等	変流器	製造者名 型式等					
点検項目	種類・容量等の内容	点検結果	不良内容	措置内容					
機器									
受信機	周囲の状況								
	外形								
	表示								
	電源表示灯								
	スイッチ類								
	ヒューズ類				A				
	試験装置								
	試験表示灯								
	接続線								
	接地								
変流器	感度調整装置等				設定値	mA			
	予備品								
	外形								
	表示								
	未警告								
	容量					A			
	外形								
	取付状態								
	音								
	周囲の状況								
音響装置	漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置								
	外形								
	定格電流容量					A			
	作動								
	状況								

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種類・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。

別記様式第12

(その1)

漏電火災警報器点検票									
名称								防火 管理者	
所在								立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名	TEL					
点検者	氏名	点検者 住所							
点検名	受信機	製造者名 型式等	変流器	製造者名 型式等					
点検項目	種類・容量等の内容	点検結果	不良内容	措置内容					
機器									
受信機	周囲の状況								
	表示								
	電源表示灯								
	スイッチ類								
	ヒューズ類					A			
	試験装置								
	試験表示灯								
	接続線								
	接地								
	感度調整装置等					設定値	mA		
変流器	予備品								
	外形								
	表示								
	未警告								
	容量					A			
	外形								
	取付状態								
	音								
	周囲の状況								
	音響装置	漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置							
外形									
定格電流容量						A			
作動									
状況									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種類・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の措置置した内容を記入すること。

別記様式第12

漏電火災警報器 (その2)

		総 合 点 検	
作 動 範 囲	用 器	- % ~ + %	%
漏 電 表 示 灯			
音 響 装 置 の 音 圧	db		
漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置			
備			
考			
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際指摘した内容を記入すること。

別記様式第12

漏電火災警報器 (その2)

		総 合 点 検	
作 動 範 囲	用 器	- % ~ + %	%
漏 電 表 示 灯			
音 響 装 置 の 音 圧	db		
漏電火災警報器の作動と連動して電流の遮断を行う装置			
備			
考			
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際指摘した内容を記入すること。









別記様式第14 非常警報器具及び設備 (その2)

起動装置	押しボタン等				
送信機	送信機・非常電話				
自動火災報知設備との連動					
周囲の状況					
外					
表					
電圧計					
保護装置					
インテック類					
保護装置					
ヒューズ類					
继电器					
計器類					
表示灯					
接続地					
回路選択					
2以上の操作部等					
遠隔操作器の連動					
非常用放送切替					
等					
回路短絡					
音声報音					
火災音信					
マイクホン					
予備品					
外形					
取付状態					
音鳴動方式					
音鳴動調整器					
表示灯					
警子機					
端子機					

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 指図内容欄には、点検の際確認した内容を記入すること。 6 票に※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第二十五条の二第二項第三号りに規定する地震動予報等に係る放送を行う場合に限る。

別記様式第14 非常警報器具及び設備 (その2)

起動装置	押しボタン等				
送信機	送信機・非常電話				
自動火災報知設備との連動					
周囲の状況					
外					
表					
電圧計					
保護装置					
インテック類					
保護装置					
ヒューズ類					
继电器					
計器類					
表示灯					
接続地					
回路選択					
2以上の操作部等					
遠隔操作器の連動					
非常用放送切替					
等					
回路短絡					
音声報音					
火災音信					
マイクホン					
予備品					
外形					
取付状態					
音鳴動方式					
音鳴動調整器					
表示灯					
警子機					
端子機					

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。 5 指図内容欄には、点検の際確認した内容を記入すること。 6 票に※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第二十五条の二第二項第三号りに規定する地震動予報等に係る放送を行う場合に限る。

別記様式第14 非常警報器具及び設備 (その3)

音響装置・スピーカーの音圧		総	合	点	検
音響装置	スピーカーの音圧				
総	合	作	動		

備考											
備											
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本標準規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指面内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第14 非常警報器具及び設備 (その3)

音響装置・スピーカーの音圧		総	合	点	検
音響装置	スピーカーの音圧				
総	合	作	動		

備考											
備											
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指面内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。





別記様式第16

(その1)

名称		防火 管理者		点検票	
名称		防火		点検票	
所在		管理者		点検票	
点検種別	機 器	点検年月日	年 月 日	不良内容	措置内容
点検者	氏名 所属会社	点検者 社名 住所	TEL		
点検項目		点検結果		措置内容	
機 器		種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
		遮断口	客席	点検	
誘導		非常電源 (内蔵型)			
外箱・表示面		種類			
外 形		視認障害等			
表 示		外 形			
外 形		非常電源 表 示			
機 能		機 能			
光 源		光 源			
点検スイッチ		点検スイッチ			
ヒューズ類		ヒューズ類			
結線接続		結線接続			
外形		外形			
番号		番号			
結線接続		結線接続			
遮断機		遮断機			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第16

(その1)

名称		防火 管理者		点検票	
名称		防火		点検票	
所在		管理者		点検票	
点検種別	機 器	点検年月日	年 月 日	不良内容	措置内容
点検者	資格 番号 氏名	点検者 社名 住所	TEL		
点検項目		点検結果		措置内容	
機 器		種別・容量等の内容	判定	不良内容	措置内容
		遮断口	客席	点検	
誘導		非常電源 (内蔵型)			
外箱・表示面		種類			
外 形		視認障害等			
表 示		外 形			
外 形		非常電源 表 示			
機 能		機 能			
光 源		光 源			
点検スイッチ		点検スイッチ			
ヒューズ類		ヒューズ類			
結線接続		結線接続			
外形		外形			
番号		番号			
結線接続		結線接続			
遮断機		遮断機			

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。



別記様式第16

誘導灯及び誘導標識（その2）

備考	外形		製造者名	型	式	校正年月日	製造者名	型	式	校正年月日	製造者名
	型	式									
	外	形									
	型	種									
	種	者									
	等										
	探	光									
	又	は									
	照	明									
	誘	導									
	標	識									
	機	能									

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・符號等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号へ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号5に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

別記様式第16

誘導灯及び誘導標識点検票（その2）

備考	外形		製造者名	型	式	校正年月日	製造者名	型	式	校正年月日	製造者名
	型	式									
	外	形									
	型	種									
	種	者									
	等										
	探	光									
	又	は									
	照	明									
	誘	導									
	標	識									
	機	能									

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 種別・符號等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

6 票中※印のあるものは、消防法施行規則（昭和36年自治省令第6号）第28条の2第1項第3号へ並びに第28条の3第4項第3号の2及び第10号に規定する蓄光式誘導標識、「誘導灯及び誘導標識の基準」（平成11年消防庁告示第2号）第5第3号5に規定する高輝度蓄光式誘導標識に限る。

7 票中※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識に限る。

8 票中※※※印のあるものは、電気エネルギーにより光を発する誘導標識のうち、内蔵型の電源を有するものに限る。

別記様式第17

消防用水点検票									
名称								防火 管理者	
所在								立会者	
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	日	TEL		
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名	住所					
点検項目	機器	点検結果	判定不良内容		措置内容				
水	貯水	槽量	量	m <sup>3</sup>					
水	水	状態							
源	給水	水	装置	位置					
吸探	周囲	の	状況						
管	吸	管	投入	口					
投入	探	本	体						
孔	水	口	開	閉					
・	口	標	弁	鎖					
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第17

消防用水点検票									
名称								防火 管理者	㊦
所在								立会者	㊦
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	日	TEL		
点検者	資格	番号	点検者 所属会社	社名	住所				
	氏名								
点検項目	機器	点検結果	判定不良内容		措置内容				
水	貯水	槽量	量	m <sup>3</sup>					
水	水	状態							
源	給水	水	装置	位置					
吸探	周囲	の	状況						
管	吸	管	投入	口					
投入	探	本	体						
孔	水	口	開	閉					
・	口	標	弁	鎖					
備考									
測定機器	機器名	形	式	校正年月日	製造者名	機器名	形	式	校正年月日

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第18

(その1)

名称		排煙設備点検票		防火 管理者	①
所在				立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日		
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名 住所	TEL	
点検名	排煙機	製造者名			
設備名	型式等				
点検項目		点検結果		措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
防煙区画壁	固定の状況				
可動壁	外部の状況				
機	性能				
開口検査	周囲の状況				
風	外部の状況				
支	保持部				
防	防火ダンプ				
接	統一部				
制御盤	周囲の状況				
外	形状				
電	電圧計・電流計	V	A		
機	開閉器・スイッチ類				
の	ヒューズ類	A			
制御	電線				
装置	指示灯				
接続	線接続				
端子	備品等				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第18

(その1)

名称		排煙設備点検票		防火 管理者	①
所在				立会者	②
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日		
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名 住所	TEL	
点検名	排煙機	製造者名			
設備名	型式等				
点検項目		点検結果		措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
防煙区画壁	固定の状況				
可動壁	外部の状況				
機	性能				
開口検査	周囲の状況				
風	外部の状況				
支	保持部				
防	防火ダンプ				
接	統一部				
制御盤	周囲の状況				
外	形状				
電	電圧計・電流計	V	A		
機	開閉器・スイッチ類				
の	ヒューズ類	A			
制御	電線				
装置	指示灯				
接続	線接続				
端子	備品等				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第18

排煙設備 (その2)

備 考	自動式起動装置		周囲の状況						
	起動装置	手動式	手動操作箱	外形					
		表示							
	ハンドル・レバー等								
	外形								
	排煙機	回転軸							
		軸受部							
	電動機	動力伝達装置							
		機能							
	給気機	回転羽根等							
排煙機出口									
総合点検									
排煙機・給気機									
可動部									
電動機の運転電流			A						
運転状況									
回転羽根									
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指室内容欄には、点検の際指置した内容を記入すること。

別記様式第18

排煙設備 (その2)

備 考	自動式起動装置		周囲の状況						
	起動装置	手動式	手動操作箱	外形					
		表示							
	ハンドル・レバー等								
	外形								
	排煙機	回転軸							
		軸受部							
	電動機	動力伝達装置							
		機能							
	給気機	回転羽根等							
排煙機出口									
総合点検									
排煙機・給気機									
可動部									
電動機の運転電流			A						
運転状況									
回転羽根									
備考									
測定機器	機器名	形式	校正年月日	製造者名	機器名	形式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指室内容欄には、点検の際指置した内容を記入すること。

別記様式第19

連結散水設備点検票									
名称		防火 管理者							
所在		立会者							
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	TEL			
点検者	氏名	資格	点検者 所属会社	住所	社名	TEL			
点検項目		点検結果	判定	不良	内容	措置	内容		
送水	周間の状況	形							
水口	外部	形							
標識	標識・系統図	形							
週間の状況	週間の状況	形							
選外	選外	形							
弁機	弁機	形							
一斉開放弁	周間の状況等	形							
(電磁弁を含む)	外部	形							
管継手	管継手	形							
支持金具	支持金具・つり金具	形							
管附	管附	形							
外部	外部	形							
散水	散水分布障害	形							
ヘッド	ヘッド	形							
未	未	形							
震	震	形							
部	部	形							
分	分	形							
價	價	形							
考	機器名	式	校正年月日	製造者名	機器名	式	校正年月日	製造者名	
別									
定									
機									
器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択投のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第19

連結散水設備点検票									
名称		防火 管理者							
所在		立会者							
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	TEL			
点検者	氏名	資格	点検者 所属会社	住所	社名	TEL			
点検項目		点検結果	判定	不良	内容	措置	内容		
送水	周間の状況	形							
水口	外部	形							
標識	標識・系統図	形							
週間の状況	週間の状況	形							
選外	選外	形							
弁機	弁機	形							
一斉開放弁	周間の状況等	形							
(電磁弁を含む)	外部	形							
管継手	管継手	形							
支持金具	支持金具・つり金具	形							
管附	管附	形							
外部	外部	形							
散水	散水分布障害	形							
ヘッド	ヘッド	形							
未	未	形							
震	震	形							
部	部	形							
分	分	形							
價	價	形							
考	機器名	式	校正年月日	製造者名	機器名	式	校正年月日	製造者名	
別									
定									
機									
器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択投のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の所措置した内容を記入すること。

別記様式第20

(その1)

別記様式第20 連結送水管 (共同住宅用連結送水管) 点検票									
名称				防火管理者			防火立会者		
所在									
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL					
点検者	氏名	点検者所属会社	住所		社名		TEL		
点検項目	点検項目	製造者名 型式等	ポンプ 型式等	製造者名 型式等	点検結果	判定	不良内容	措置内容	
								機器	
送水口	周囲の状況	形状	本体						
放水口	放水器具格納箱	外形・機能	ホース・ノズル	ホースの耐圧性能	ホース mm	ノズル mm			
放水口	周囲の状況	形状	本体	周囲の状況	形状	認識	放水器具格納箱	格納	
								開	閉
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第20

(その1)

別記様式第20 連結送水管 (共同住宅用連結送水管) 点検票									
名称				防火管理者			防火立会者		
所在									
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	TEL					
点検者	氏名	点検者所属会社	住所		社名		TEL		
点検項目	点検項目	製造者名 型式等	ポンプ 型式等	製造者名 型式等	点検結果	判定	不良内容	措置内容	
								機器	
送水口	周囲の状況	形状	本体						
放水口	放水器具格納箱	外形・機能	ホース・ノズル	ホースの耐圧性能	ホース mm	ノズル mm			
放水口	周囲の状況	形状	本体	周囲の状況	形状	認識	放水器具格納箱	格納	
								開	閉
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内
加圧送水装置	電動機	電圧計・電流計	開閉器・スイッチ類	ヒューズ	電線	指示	接地	周囲の状況	
								外	内

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第20

連結送水管 (その2)

耐用	震	措	置	周囲の状況		形状	性能	用途									
				直接操作部	周囲の状況												
備考	1	この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。	2	種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。	3	判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。	4	強収取のある欄は、該当事項に○印を付すこと。	5	指図内容欄には、点検の箇所を記入すること。	起動装置	直接操作部	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途

別記様式第20

連結送水管 (その2)

耐用	震	措	置	周囲の状況		形状	性能	用途									
				直接操作部	周囲の状況												
備考	1	この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。	2	種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。	3	判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。	4	強収取のある欄は、該当事項に○印を付すこと。	5	指図内容欄には、点検の箇所を記入すること。	起動装置	直接操作部	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途
											送風機	送風機	外	周囲の状況	形状	性能	用途





別記様式第21

非常コンセント設備（共同住宅用非常コンセント設備）点検票									
名称					防火管理者				
所在					立会者				
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	氏名	点検者所属会社	社名	TEL					
			住所						
点検項目	点検結果		判定不良内容		措置内容				
	機器		点検						
周囲の状況									
外形									
保護箱表									
表示灯									
さし込接続器									
開閉子	閉電圧	常用	V	非常	V				
端子	回電	圧	常	用	V				
相									
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第21

非常コンセント設備（共同住宅用非常コンセント設備）点検票									
名称					防火管理者				
所在					立会者				
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	～	年	月	日
点検者	資格	番号	点検者所属会社	社名	TEL				
	氏名		住所						
点検項目	点検結果		判定不良内容		措置内容				
	機器		点検						
周囲の状況									
外形									
保護箱表									
表示灯									
さし込接続器									
開閉子	閉電圧	常用	V	非常	V				
端子	回電	圧	常	用	V				
相									
備考									
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第22

無線通信補助設備点検票										
名称									防火 管理者 立会者	
所在										
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	TEL				
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名	住所	TEL					
点検名	増幅器	製造者名	型式等	増幅器	製造者名	型式等				
	空中線	製造者名	型式等	空中線	製造者名	型式等				
点検項目	種別・容量等の内容		判定	不良内容	措置内容					
無線通信補助設備点検										
保護箱	外形	形状								
	表示	形状								
無線機端子	外形	形状								
	コネクタ	形状								
増幅器	配線	線等								
	空中線	線等								
漏洩同軸ケーブル	支保	措置								
	防護	措置								
軸心	可とう	性能								
	継接	性能								
備考										
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

備考

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第22

無線通信補助設備点検票										
名称									防火 管理者 立会者	
所在										
点検種別	機器	点検年月日	年	月	日	TEL				
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名	住所	TEL					
点検名	増幅器	製造者名	型式等	増幅器	製造者名	型式等				
	空中線	製造者名	型式等	空中線	製造者名	型式等				
点検項目	種別・容量等の内容		判定	不良内容	措置内容					
無線通信補助設備点検										
保護箱	外形	形状								
	表示	形状								
無線機端子	外形	形状								
	コネクタ	形状								
増幅器	配線	線等								
	空中線	線等								
漏洩同軸ケーブル	支保	措置								
	防護	措置								
軸心	可とう	性能								
	継接	性能								
備考										
測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

備考

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第23

(その1)

非常電源 (非常電源専用受電設備) 点検票 (設備名 )			防火 管理者 立会者
名称			
所在			
点検種別	機器・総合 氏名	点検年月日 年 月 日	TEL
点検者	資格 氏名	点検者 所属会社 住所	TEL
点検設備 設備名	製造者名 型式等		
点検項目		点検結果 種別・容量等の内容 判定不良内容	措置内容
周囲の状況			
区域	画面	等	キュービクル形式 キュービクル形式以外
水の浸透	気	透	自然 機械
換照	標	識	
状況	外	表	形
高圧受電器	計	器	類
開閉器・遮断器	表示	灯	A
配分電盤	継	電	器 (低圧)
変圧器	圧	器	
コンデンサ	開	閉	器・遮断器
接地	結	線	接
耐震	耐	震	措
措置	措	置	
子	備	品	等 (低圧)

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第23

(その1)

非常電源 (非常電源専用受電設備) 点検票 (設備名 )			防火 管理者 立会者
名称			
所在			
点検種別	機器・総合 資格 番号 氏名	点検年月日 年 月 日	TEL
点検者	資格 氏名	点検者 所属会社 住所	TEL
点検設備 設備名	製造者名 型式等		
点検項目		点検結果 種別・容量等の内容 判定不良内容	措置内容
周囲の状況			
区域	画面	等	キュービクル形式 キュービクル形式以外
水の浸透	気	透	自然 機械
換照	標	識	
状況	外	表	形
高圧受電器	計	器	類
開閉器・遮断器	表示	灯	A
配分電盤	継	電	器 (低圧)
変圧器	圧	器	
コンデンサ	開	閉	器・遮断器
接地	結	線	接
耐震	耐	震	措
措置	措	置	
子	備	品	等 (低圧)

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第23 非常電源（非常電源専用受電設備）（その2）

接 地		種 類		製 造 者 名	
絶 縁	低 抗	Ω			
保 護 継 電 器 等					
開 閉 器 ・ 遮 断 器					
高 圧 又 は 特 別 産 品					
接 地		A			
電気主任技術者 氏名及び資格					
備 考					
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式
測 定 機 器					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 強引取付のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第23 非常電源（非常電源専用受電設備）（その2）

接 地		種 類		製 造 者 名	
絶 縁	低 抗	Ω			
保 護 継 電 器 等					
開 閉 器 ・ 遮 断 器					
高 圧 又 は 特 別 産 品					
接 地		A			
電気主任技術者 氏名及び資格					
備 考					
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式
測 定 機 器					

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 強引取付のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第24

(その1)

非常電源 (自家発電設備) 点検票 (設備名 )				防火		防犯	
				管理者		立会者	
名称							
所在地							
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	～	年 月 日	TEL	
点検者	氏名	住所		会社名	TEL		
	資格 番号	住所		会社名	TEL		
点検項目	点検機	製造者名	製造者名				
		型式等	型式等				
点検項目				点検結果	不良内容	措置内容	
機器				種類・容量等の内容	判定	不良内容	
週間	状況	等	種類	種類	種類	種類	種類
区画	浸透	空気	自然	機械			
水の	換気	照明	識別				
状況	照	明	識				
表							
原動機・発電機	種類	/	kW				
自家発電装置	ラジエータ、配管等						
冷却装置	冷却ファン						
潤滑油	潤滑油						
その他の付属機器類							
※始動用蓄電池設備							
始圧	外形	形					
始動用空気	空気	だめ	MPa	L			
始動用潤滑油	潤滑油	種類					
始動用燃料	燃料						

備考

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 票中※印のあるものは、非常電源 (蓄電池設備) 点検票を添付すること。

別記様式第24

(その1)

非常電源 (自家発電設備) 点検票 (設備名 )				防火		防犯	
				管理者		立会者	
名称							
所在地							
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日	～	年 月 日	TEL	
点検者	氏名	住所		会社名	TEL		
	資格 番号	住所		会社名	TEL		
点検項目	点検機	製造者名	製造者名				
		型式等	型式等				
点検項目				点検結果	不良内容	措置内容	
機器				種類・容量等の内容	判定	不良内容	
週間	状況	等	種類	種類	種類	種類	種類
区画	浸透	空気	自然	機械			
水の	換気	照明	識別				
状況	照	明	識				
表							
原動機・発電機	種類	/	kW				
自家発電装置	ラジエータ、配管等						
冷却装置	冷却ファン						
潤滑油	潤滑油						
その他の付属機器類							
※始動用蓄電池設備							
始圧	外形	形					
始動用空気	空気	だめ	MPa	L			
始動用潤滑油	潤滑油	種類					
始動用燃料	燃料						

備考

- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
- 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
- 票中※印のあるものは、非常電源 (蓄電池設備) 点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その2）

周囲の状況					
制	発電機盤				
	自動始動盤				
御	補機盤				
	電源表示灯				
装	表				
	表示灯				
	開閉器・遮断器				
置	ヒューズ類	A			
	継電器				
保	護装置				
計	器類				
燃	料容器等	外形			
		燃料貯蔵量	種類		
		L			
冷	却水	外形			
		水量	L		
		周囲の状況			
排	気筒	外形			
		貫通部			
		管			
		配			
結	線	接続地			
始	動	性能			
		運転状況			
		換			
運	転性能	気			
停	止性能	手動停止			
		自動停止			
耐	震	措置			
		置			
予	備	品			
		等			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の記録簿に記入した内容を記入すること。
  - 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その2）

周囲の状況					
制	発電機盤				
	自動始動盤				
御	補機盤				
	電源表示灯				
装	表				
	表示灯				
	開閉器・遮断器				
置	ヒューズ類	A			
	継電器				
保	護装置				
計	器類				
燃	料容器等	外形			
		燃料貯蔵量	種類		
		l			
冷	却水	外形			
		水量	l		
		周囲の状況			
排	気筒	外形			
		貫通部			
		管			
		配			
結	線	接続地			
始	動	性能			
		運転状況			
		換			
運	転性能	気			
停	止性能	手動停止			
		自動停止			
耐	震	措置			
		置			
予	備	品			
		等			

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択表のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の記録簿に記入した内容を記入すること。
  - 6 票中※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総合点検					
接地抵抗	抗抗	種	Ω		
絶縁抵抗			MΩ		
自家発電装置の接続部					
※始動用蓄電池設備					
始動装置	※始動用空気圧縮設備		L		
始動補助装置					
保護装置					
※※※	負荷運転		kW		
※※※	内部観察等				
※※※	運転切替性能				
※※※	※蓄電池切替性能				
※※※	※蓄電池切替性能				
※※※	※蓄電池切替性能				
電気主任技術者 氏名及び番号	氏名及び番号				
負荷運転又は内部観察等の最終実施年月	（ 年 月 ）				

  

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- この用語の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別：容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 括弧内内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 票中※※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
  - 票中※※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

別記様式第24

非常電源（自家発電設備）（その3）

総合点検					
接地抵抗	抗抗	種	Ω		
絶縁抵抗			MΩ		
自家発電装置の接続部					
※始動用蓄電池設備					
始動装置	※始動用空気圧縮設備		ℓ		
始動補助装置					
保護装置					
※※※	負荷運転		kW		
※※※	内部観察等				
※※※	運転切替性能				
※※※	※蓄電池切替性能				
※※※	※蓄電池切替性能				
電気主任技術者 氏名及び番号	氏名及び番号				
負荷運転又は内部観察等の最終実施年月	（ 年 月 ）				

  

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- この用語の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別：容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 括弧内内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。
  - 票中※※印のあるものは、非常電源（蓄電池設備）点検票を添付すること。
  - 票中※※※印のあるものは、当該点検項目の最終実施年月を備考欄に記入し、別表第24第2項（6）に規定する運転性能の維持に係る予防的な保全策が講じられている場合は、当該保全策を講じていることを示す書類を添付すること。

別記様式第25

(その1)

名称		非常電源 (蓄電池設備) 点検票 (設備名 )		防火	
所在				管理者	
点検種別		機器・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日
点検者		氏名	点検者	会社名	TTL
			所属会社	住所	
点検項目	蓄電池	製造者名	充電装置	製造者名	
		型式等		型式等	
	製造者名	直交変換装置	製造者名		
	型式等		型式等		
逆変換装置					
点検項目		点検結果		措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
		機器点検			
周囲の状況					
区画の浸透	キュービクル式 キュービクル式以外				
水の浸透					
換気	自然 機械				
照	明				
標	識				
外	形				
表	示				
電	液				
電	減液警報用電極				
電	液漏れ警報用電極				
電	総電圧	V			
電	セル電圧	V			
電	負荷容量				
電	均等充電				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第25

(その1)

名称		非常電源 (蓄電池設備) 点検票 (設備名 )		防火	①
所在				管理者	②
点検種別		機器・総合	点検年月日	年 月 日	年 月 日
点検者		氏名	点検者	会社名	TTL
			所属会社	住所	
点検項目	蓄電池	製造者名	充電装置	製造者名	
		型式等		型式等	
	製造者名	直交変換装置	製造者名		
	型式等		型式等		
逆変換装置					
点検項目		点検結果		措置内容	
		種別・容量等の内容	判定	不良内容	
		機器点検			
周囲の状況					
区画の浸透	キュービクル式 キュービクル式以外				
水の浸透					
換気	自然 機械				
照	明				
標	識				
外	形				
表	示				
電	液				
電	減液警報用電極				
電	液漏れ警報用電極				
電	総電圧	V			
電	セル電圧	V			
電	負荷容量				
電	均等充電				

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。



別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その2）

外	形				
表	示				
開閉器・遮断器					
交流入力電圧	V				
トリプル・浮動・定電流定電圧	V				
均等充電電圧	V				
出力電流	A				
負荷電圧	V				
負荷電流	A				
自動充電切替					
接地					
外	形				
表	示				
逆					
開閉器・遮断器					
交流出力電圧	V				
交流出力電流	A				
接地					
周波数	Hz				
接地					
外	形				
表	示				
直					
開閉器・遮断器					
交流入力電圧	V				
交流電圧	V				
充電電流	A				
交流出力電圧	V				
交流出力電流	A				
接地					
線	接	線			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指置内容欄には、点検の添付した内容を記入すること。

別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その2）

外	形				
表	示				
開閉器・遮断器					
交流入力電圧	V				
トリプル・浮動・定電流定電圧	V				
均等充電電圧	V				
出力電流	A				
負荷電圧	V				
負荷電流	A				
自動充電切替					
接地					
外	形				
表	示				
逆					
開閉器・遮断器					
交流出力電圧	V				
交流出力電流	A				
接地					
周波数	Hz				
接地					
外	形				
表	示				
直					
開閉器・遮断器					
交流入力電圧	V				
交流電圧	V				
充電電流	A				
交流出力電圧	V				
交流出力電流	A				
接地					
線	接	線			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指置内容欄には、点検の添付した内容を記入すること。

別記様式第24

非常電源（蓄電池設備）（その3）

ポ ン ク	外	形 能 等							
	性								
ク ン ク ・ 配 管 等									
制 御 装 置									
耐 震 措 置									
予 備 品 等									
総 合 点 検									
接 地	抵 抗	種 Ω							
絶 縁	抵 抗	MΩ							
容 積									
切 替 装 置									
電 圧 計 ・ 周 波 数 計									
警 報 動 作									
減 液 警 報 装 置									
液 漏 れ 警 報 装 置									
電 圧 調 整 範 囲									
負 荷 電 圧 補 償 装 置									
ク ラ イ ブ	一								
備 考 電気主任技術者 氏名及び資格									
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
測 定 機 器									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第25

非常電源（蓄電池設備）（その3）

ポ ン ク	外	形 能 等							
	性								
ク ン ク ・ 配 管 等									
制 御 装 置									
耐 震 措 置									
予 備 品 等									
総 合 点 検									
接 地	抵 抗	種 Ω							
絶 縁	抵 抗	MΩ							
容 積									
切 替 装 置									
電 圧 計 ・ 周 波 数 計									
警 報 動 作									
減 液 警 報 装 置									
液 漏 れ 警 報 装 置									
電 圧 調 整 範 囲									
負 荷 電 圧 補 償 装 置									
ク ラ イ ブ	一								
備 考 電気主任技術者 氏名及び資格									
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
測 定 機 器									

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。  
 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。  
 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。



別記様式第25の2

非常電源（燃料電池設備）（その2）

改質装置	種類								
計器	外形								
	燃料貯蔵量	種類	L						
燃料容器等	周囲の状況								
	外形								
排気筒	貫通部								
	配管								
接続	接続地								
運転	転性能								
耐震	措置								
予備	備品等								
総 合 点 検									
接地抵抗	抵抗	種	Ω						
絶縁抵抗	抵抗		MΩ						
保護装置	位置								
停止性能	性能								
切断性能	性能								
備考	電気主任技術者 氏名及び資格								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第25の2

非常電源（燃料電池設備）（その2）

改質装置	種類								
計器	外形								
	燃料貯蔵量	種類	ℓ						
燃料容器等	周囲の状況								
	外形								
排気筒	貫通部								
	配管								
接続	接続地								
運転	転性能								
耐震	措置								
予備	備品等								
総 合 点 検									
接地抵抗	抵抗	種	Ω						
絶縁抵抗	抵抗		MΩ						
保護装置	位置								
停止性能	性能								
切断性能	性能								
備考	電気主任技術者 氏名及び資格								
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等などの内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第26

配線点検票 (設備名 )									
名称				防火 管理者					
所在				立会者					
点検種別	総合	点検年月日	年 月 日	TEL	年 月 日				
点検者	氏名	点検者 所属会社	社名	住所					
点検項目	点検結果			判定	不良内容	措置内容			
	種別・容量等の内容								
総合点検									
専用回路	開閉器・遮断器	ヒューズ類	絶縁抵抗	抗誘	常用	MO非常	MO	耐熱保護	
備考									
機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	測定機器	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 措置内容欄には、点検の懸置した内容を記入すること。

別記様式第28

配線点検票 (設備名 )									
名称				防火 管理者					
所在				立会者					
点検種別	総合	点検年月日	年 月 日	TEL	年 月 日				
点検者	資格 番号	点検者 所属会社	社名	住所					
	氏名								
点検項目	点検結果			判定	不良内容	措置内容			
	種別・容量等の内容								
総合点検									
専用回路	開閉器・遮断器	ヒューズ類	絶縁抵抗	抗誘	常用	MO非常	MO	耐熱保護	
備考									
機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名	測定機器	

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 措置内容欄には、点検の懸置した内容を記入すること。



別記様式第27

総合操作盤（その2）

本 体	警 報 停 止 機 能								
	機 作 運 動 移 報 切 替 機 能								
	機 表 示 切 替 機 能								
	機 復 旧 機 能								
	機 遠 隔 起 動 機 能								
	機 情 報 伝 達 機 能								
	機 制 御 機 能								
	機 記 録 機 能								
	機 消 防 活 動 支 援 機 能								
	機 シミュレーション機能								
	機 運 送 機 能								
	機 履 歴 機 能								
	機 自 己 診 断 機 能								
予 備 品 等									
総 合 点 検									
備 考									
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
測 定 機 器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指室内内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第27

総合操作盤（その2）

本 体	警 報 停 止 機 能								
	機 作 運 動 移 報 切 替 機 能								
	機 表 示 切 替 機 能								
	機 復 旧 機 能								
	機 遠 隔 起 動 機 能								
	機 情 報 伝 達 機 能								
	機 制 御 機 能								
	機 記 録 機 能								
	機 消 防 活 動 支 援 機 能								
	機 シミュレーション機能								
	機 運 送 機 能								
	機 履 歴 機 能								
	機 自 己 診 断 機 能								
予 備 品 等									
総 合 点 検									
備 考									
機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
測 定 機 器									

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指室内内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。





別紙様式第28 バックアップ型消火設備 (その2)

手動式動機作部	周囲の状況						
外	形						
表	示						
機	能						
配	管						
ホ	一						
ホ	ホースリール・ホース架						
一	ス						
ス	ル						
等	ノズル開閉弁						
ノズル開閉弁		合		点		検	
ノズル開閉弁							
ホース・ホース接続部							

備							
考							

測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 点検冊子の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢がある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指し欄には、点検の際の指し内容を入力すること。
  - ※印のあるものは、(その3)に添付ごとに点検結果を記入すること。

別紙様式第28 バックアップ型消火設備 (その2)

手動式動機作部	周囲の状況						
外	形						
表	示						
機	能						
配	管						
ホ	一						
ホ	ホースリール・ホース架						
一	ス						
ス	ル						
等	ノズル開閉弁						
ノズル開閉弁		合		点		検	
ノズル開閉弁							
ホース・ホース接続部							

備							
考							

測定機器	機器名	型	式	校正年月日	製造者名	機器名	型	式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 点検冊子の種別等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢がある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指し欄には、点検の際の指し内容を入力すること。
  - ※印のあるものは、(その3)に添付ごとに点検結果を記入すること。

別記様式第28

ポンプ型消火設備 (その3)

番号 消火薬剤の 種類 (区分)	製造番号 (容器番号)	消火薬剤		加圧用ガス	
		規定量 (kg又はL)	点検結果 測定量 (kg (L)) 密圧力値 (MPa)	規定量 (kg又はMPa)	点検結果 測定量 (kg) ガス圧力値 (MPa)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)

備考 1 この括弧の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 「測定量 (kg (L))」の欄の ( L) 内には、消火薬剤の質量を比重で換算した容量 (L) を記入するか、測定値を記入すること。  
 3 「密圧力値 (MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が密圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入すること。

別記様式第28

ポンプ型消火設備 (その3)

番号 消火薬剤の 種類 (区分)	製造番号 (容器番号)	消火薬剤		加圧用ガス	
		規定量 (kg又はL)	点検結果 測定量 (kg (L)) 密圧力値 (MPa)	規定量 (kg又はMPa)	点検結果 測定量 (kg) ガス圧力値 (MPa)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)
(1型・II型)	( )	kg	( L)	MPa	kg ( L)

備考 1 この括弧の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 「測定量 (kg (L))」の欄の ( L) 内には、消火薬剤の質量を比重で換算した容量 (L) を記入するか、測定値を記入すること。  
 3 「密圧力値 (MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が密圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入すること。

別記様式第29

(その1)

パツケー ジ型自動消火設備点検票			
名称		防火管理者	
所在		防火管理者	
点検種別	機器点検・総合点検	点検年月日	年 月 日
点検者	氏名	社名	TEL
		住所	
点検項目	点検結果	不良内容	措置内容
	機器	判定	点検
周囲の状況			
パツケー ジ			
表同時放射区域			
消火薬剤貯蔵容器			
安全装置			
※消火薬剤			
容器弁			
容器放装置			
パツケー ジ			
指示圧力計			
消火薬剤貯蔵容器			
安全装置			
※消火薬剤			
パツケー ジ			
加圧用ガス容器			
※ガスメーター			
容器弁			
安全装置			
容器放装置			
パツケー ジ			
圧力調整器			
加圧式消火薬剤貯蔵容器等			

別記様式第29

(その1)

パツケー ジ型自動消火設備点検票			
名称		防火管理者	
所在		防火管理者	
点検種別	機器点検・総合点検	点検年月日	年 月 日
点検者	氏名	社名	TEL
		住所	
点検項目	点検結果	不良内容	措置内容
	機器	判定	点検
周囲の状況			
パツケー ジ			
表同時放射区域			
消火薬剤貯蔵容器			
安全装置			
※消火薬剤			
容器弁			
容器放装置			
パツケー ジ			
指示圧力計			
消火薬剤貯蔵容器			
安全装置			
※消火薬剤			
パツケー ジ			
加圧用ガス容器			
※ガスメーター			
容器弁			
安全装置			
容器放装置			
パツケー ジ			
圧力調整器			
加圧式消火薬剤貯蔵容器等			



別記様式第29 バックアップ型自動消火設備 (その3)

総 合 点 検	
感 知 部	
受 信 装 置	
中 継 装 置	
バックアップ型自動消火設備の運動	
選 択	
放 出 管	
監 視 盤 等	

備

考

機 器 名	型 式	校三年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校五年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 点検結果の種類等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置欄には、点検の際の措置した内容を記入すること。
  - ※印のあるものは、(その4)に添付することと点検結果を記入すること。
  - ※※印のあるものは、別表第23、別表第24又は別表第25に規定する非常電源の点検の基準並びに別表第26に規定する配線の点検票によること。

別記様式第29 バックアップ型自動消火設備 (その3)

総 合 点 検	
感 知 部	
受 信 装 置	
中 継 装 置	
バックアップ型自動消火設備の運動	
選 択	
放 出 管	
監 視 盤 等	

備

考

機 器 名	型 式	校五年月日	製造者名	機 器 名	型 式	校五年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 点検結果の種類等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印を、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置欄には、点検の際の措置した内容を記入すること。
  - ※印のあるものは、(その4)に添付することと点検結果を記入すること。
  - ※※印のあるものは、別表第23、別表第24又は別表第25に規定する非常電源の点検の基準並びに別表第26に規定する配線の点検票によること。

別記様式第29 パンクーン型自動消火設備（その4）

番号 消火薬剤の 種類 (区分)	製造番号 (容器番号) (kg又はL)	消火薬剤			加圧用ガス		
		点検結果 測定量	番圧力値 (MPa)	容器 番号 (kg又はMPa)	規定量	点検結果	
						測定量	ガス圧力値 (MPa)
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa

備考 1 この括弧の大きさは、日本産業規格A4であること。  
 2 「測定量 (kg (L))」の欄の ( L) 内には、消火薬剤の質量を比量で換算した容量 (L) を記入するか、測定値を記入すること。  
 3 「番圧力値 (MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が番圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入すること。

別記様式第29 パンクーン型自動消火設備（その4）

番号 消火薬剤の 種類 (区分)	製造番号 (容器番号) (kg又はL)	消火薬剤			加圧用ガス		
		点検結果 測定量	番圧力値 (MPa)	容器 番号 (kg又はMPa)	規定量	点検結果	
						測定量	ガス圧力値 (MPa)
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa
(1型・II型)	( )	( L)	kg	MPa	( )	kg	MPa

備考 1 この括弧の大きさは、日本工業規格A4であること。  
 2 「測定量 (kg (L))」の欄の ( L) 内には、消火薬剤の質量を比量で換算した容量 (L) を記入するか、測定値を記入すること。  
 3 「番圧力値 (MPa)」の欄には、消火薬剤貯蔵容器が番圧式の場合、その指示圧力計の指示値を記入すること。

別記様式第30

(その1)

共同住宅用スプリンクラー設備点検票										
名称	防火管理者 管理番号		防火管理者 立会者							
所在	点検年月日		社名		TEL					
点検種別	機器・総合		資格		番号					
点検者	氏名		所属会社		住所					
点検名	ポンプ		製造者名		電動機		製造者名			
	型式等		型式等		型式等		型式等			
点検項目										
機器					点検結果					
					種別・容量等の内容					
					判定不良内容					
					措置内容					
機器										
水	貯	水	槽	種別						
	水	水	量	m <sup>3</sup>						
	給	水	装	置						
	水	位	計							
	圧	力	計							
	源	バ	ル	フ	類					
	加	電	周	圍	の	状	況			
	ボ	外	表							
	圧	電	圧	計	・	電	流			計
	レ	機	開	閉	器	・	ス	イ		ツ
	送	の	ヒ	ユ	ー	ズ	類			
	フ	制	電	器						A
	ア	継	電	器						A
	水	表	示	燈						
	装	結	線	接						
	方	装	接	地						
	置	子	備	品						
	式	置	器	等						

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第30

(その1)

共同住宅用スプリンクラー設備点検票										
名称	防火管理者 管理番号		防火管理者 立会者							
所在	点検年月日		社名		TEL					
点検種別	機器・総合		資格		番号					
点検者	氏名		所属会社		住所					
点検名	ポンプ		製造者名		電動機		製造者名			
	型式等		型式等		型式等		型式等			
点検項目										
機器					点検結果					
					種別・容量等の内容					
					判定不良内容					
					措置内容					
機器										
水	貯	水	槽	種別						
	水	水	量	m <sup>3</sup>						
	給	水	装	置						
	水	位	計							
	圧	力	計							
	源	バ	ル	フ	類					
	加	電	周	圍	の	状	況			
	ボ	外	表							
	圧	電	圧	計	・	電	流			計
	レ	機	開	閉	器	・	ス	イ		ツ
	送	の	ヒ	ユ	ー	ズ	類			
	フ	制	電	器						A
	ア	継	電	器						A
	水	表	示	燈						
	装	結	線	接						
	方	装	接	地						
	置	子	備	品						
	式	置	器	等						

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。







別記様式第30 共同住宅用スプリンクラー設備 (その4)

総 合 点 検								
共同住宅用スプリンクラー設備	ポンプ駆動性能等	加圧送水装置						
		表示・警報等						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	電動機の運転電流	A					
		運転状況						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	※放水圧力	MPa					
		減圧のための措置						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	表示・警報等						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	減圧のための措置						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	表示・警報等						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	減圧のための措置						
		※放水圧力	MPa					
備考								
測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この目録の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 強制的にある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。
  - 票中空白のあるものは、(その5)に「住戸、共用室又は管理人室ごとの点検結果を記入すること。」

別記様式第30 共同住宅用スプリンクラー設備 (その4)

総 合 点 検								
共同住宅用スプリンクラー設備	ポンプ駆動性能等	加圧送水装置						
		表示・警報等						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	電動機の運転電流	A					
		運転状況						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	※放水圧力	MPa					
		減圧のための措置						
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	表示・警報等						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	減圧のための措置						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	表示・警報等						
		※放水圧力	MPa					
ポンプ駆動性能等	ポンプ駆動性能等	減圧のための措置						
		※放水圧力	MPa					
備考								
測定機器	機器名	型 式	校正年月日	製造者名	機器名	型 式	校正年月日	製造者名

- 備考
- この目録の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 強制的にある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。
  - 票中空白のあるものは、(その5)に「住戸、共用室又は管理人室ごとの点検結果を記入すること。」







別記様式第31 共同住宅用自動火災報知設備（その3）

総 合 点 検	
同 時 作 動 試 験	
※ 煙 感 知 器 の 感 度	
音 声 警 報 装 置 ( 補 助 音 響 装 置 を 含 む。 ) の 音 圧	
※ 総 合 作 動	

機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
								考	
加 熱 試 験 器									
加 煙 試 験 器									
外 部 試 験 器									
煙 感 知 器 用 設 試 験 器									

- 備考
- この目録の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別、容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指置内容欄には、点検の際指置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中捺印の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第31 共同住宅用自動火災報知設備（その3）

総 合 点 検	
同 時 作 動 試 験	
※ 煙 感 知 器 の 感 度	
音 声 警 報 装 置 ( 補 助 音 響 装 置 を 含 む。 ) の 音 圧	
※ 総 合 作 動	

機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名	機 器 名	型 式	校 正 年 月 日	製 造 者 名		
								考	
加 熱 試 験 器									
加 煙 試 験 器									
外 部 試 験 器									
煙 感 知 器 用 設 試 験 器									

- 備考
- この目録の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別、容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指置内容欄には、点検の際指置した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中捺印の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。



別記様式第32

(その1)

名称		防火管理者		
住所		立会者		
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日～年 月 日	
点検者	氏名	点検者所属会社	社名 TEL	
点検名	住戸用受信機	製造者名		
		型式等		
点検項目		点検結果		措置内容
機器点検(住戸用自動火災報知設備)		種別・容量等の内容	判定不良内容	
☆	周囲の状況			
☆	住戸用表			
☆	電源表			
☆	スイッチ類			
☆	中継器			
☆	付属装置			
☆	外形			
☆	警戒部分			
☆	警戒区域			
☆	応答性			
☆	状態			
☆	機能障害			
☆	熱感知器			
☆	煙感知器			
☆	炎感知器			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の類推置した内容を記入すること。
  - 票中×印の欄は、(その4)に住戸等ごとの点検結果を記入すること。

別記様式第32

(その1)

名称		防火管理者		
住所		立会者		
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日～年 月 日	
点検者	資者 番号	点検者所属会社	社名 TEL	
点検名	住戸用受信機	製造者名		
		型式等		
点検項目		点検結果		措置内容
機器点検(住戸用自動火災報知設備)		種別・容量等の内容	判定不良内容	
☆	周囲の状況			
☆	住戸用表			
☆	電源表			
☆	スイッチ類			
☆	中継器			
☆	付属装置			
☆	外形			
☆	警戒部分			
☆	警戒区域			
☆	応答性			
☆	状態			
☆	機能障害			
☆	熱感知器			
☆	煙感知器			
☆	炎感知器			

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の類推置した内容を記入すること。
  - 票中×印の欄は、(その4)に住戸等ごとの点検結果を記入すること。





別記様式第32 住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備（その3）

音ル 響・サ 装イ 置レ ハ シ	外	形											
	取付状態												
	音響警報等 鳴動方式												
表示灯													
総合点検 (住戸用自動火災報知設備)													
※ 煙感知器の感度													
音響警報装置・音響装置 (戸外表示器の音響警報装置を含む。)の音圧													
※ 総合動作動													
総合点検 (共同住宅用非常警報設備)													
音響装置の音圧													
総合動作動													
備考													
機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名	機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名
加	熱	試	験	器									
加	煙	試	験	器									
外	部	試	験	器									
感	熱	器	用	試	験	機							

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4とする。
  - 2 種別、容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 添付紙のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指図内容欄には、点検の添付した内容の欄に記入すること。
  - 6 自動試験機能の有するものにおいては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 7 票中※印の欄は、自動試験機能の有するものにあつては記入不要。

別記様式第32 住戸用自動火災報知設備及び共同住宅用非常警報設備（その3）

音ル 響・サ 装イ 置レ ハ シ	外	形											
	取付状態												
	音響警報等 鳴動方式												
表示灯													
総合点検 (住戸用自動火災報知設備)													
※ 煙感知器の感度													
音響警報装置・音響装置 (戸外表示器の音響警報装置を含む。)の音圧													
※ 総合動作動													
総合点検 (共同住宅用非常警報設備)													
音響装置の音圧													
総合動作動													
備考													
機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名	機	器	名	型	式	校正年月日	製造者名
加	熱	試	験	器									
加	煙	試	験	器									
外	部	試	験	器									
感	熱	器	用	試	験	機							

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本建築規格A4とする。
  - 2 種別、容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 添付紙のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指図内容欄には、点検の添付した内容の欄に記入すること。
  - 6 自動試験機能の有するものにおいては、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 7 票中※印の欄は、自動試験機能の有するものにあつては記入不要。



別記様式第33

(その1)

特定小規模施設用自動火災報知設備点検票			
名称	所在	防火管理者 立会者	
点検種別	機器・総合 氏名	点検年月日 年 月 日	点検者 TEL 年 月 日
点検者	氏名	所属会社 住所	氏名 住所
製造者名			
型式名			
点検項目		点検結果	措置内容
種別・容量等の内容		判定	
機器		点	
予備電源 ①	端子電圧	V	
②	③		
④	⑤		
⑥	⑦		
⑧	⑨		
⑩	⑪		
⑫	⑬		
⑭	⑮		
⑯	⑰		
⑱	⑲		
⑳	㉑		
㉒	㉓		
㉔	㉕		
㉖	㉗		
㉘	㉙		
㉚	㉛		
㉜	㉝		
㉞	㉟		
㊱	㊲		
㊳	㊴		
㊵	㊶		
㊷	㊸		
㊹	㊺		
㊻	㊼		
㊽	㊾		
㊿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		
⓸	⓹		
⓺	⓻		
⓼	⓽		
⓾	⓿		
⓿	⓫		
⓬	⓭		
⓮	⓯		
⓰	⓱		
⓲	⓳		
⓴	⓵		
⓶	⓷		

別記様式第33

特定小規模施設用自動火災報知設備（その2）

外形	警戒部分		形状	性能	備考
	未感知	応答性			
感知状況	機	能	障	害	
※熱感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※煙感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※炎感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※多信号感知器・複合式感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※遠隔試験機能を有する感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※周回の状況	ス	ポ	ソ	ト	型
※外部表示	ス	ポ	ソ	ト	型
※押しボタン・送受話器	ス	ポ	ソ	ト	型
※外部取付状態等	ス	ポ	ソ	ト	型
※音響装置	ス	ポ	ソ	ト	型
※蓄積機	ス	ポ	ソ	ト	型
※二信号機	ス	ポ	ソ	ト	型

- 備考
- この用紙の大きさは、日本建築規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指面内容欄には、点検の際指面した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第33

特定小規模施設用自動火災報知設備（その2）

外形	警戒部分		形状	性能	備考
	未感知	応答性			
感知状況	機	能	障	害	
※熱感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※煙感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※炎感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※多信号感知器・複合式感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※遠隔試験機能を有する感知器	ス	ポ	ソ	ト	型
※周回の状況	ス	ポ	ソ	ト	型
※外部表示	ス	ポ	ソ	ト	型
※押しボタン・送受話器	ス	ポ	ソ	ト	型
※外部取付状態等	ス	ポ	ソ	ト	型
※音響装置	ス	ポ	ソ	ト	型
※蓄積機	ス	ポ	ソ	ト	型
※二信号機	ス	ポ	ソ	ト	型

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指面内容欄には、点検の際指面した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記録した書類を添付すること。
  - 票中※印の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第33 特定小規模施設用自動火災報知設備(その3)

備 考	予備電源・非常電源										
	自動	受信機の火災表示									
	試験	受信機の注意表示									
	機能	受信機・中継器の制御機能・電路									
		感知器									
	連動機能	感知器回路・ベル回路									
		無線機能									
	総 合 点 検										
	同時動作										
	※煙感知器等の感度										
地区音響装置の音圧											
※総 合 作 動											
機 器 名	型式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型式	校正年月日	製造者名
加熱試験器											
測定加圧試験器											
外部試験器											
機器											
機器											
機器											

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本標準規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指置内容欄には、点検の要項目の内容を記入すること。
  - 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常が発生した箇所の整備状況等を記載した書類を添付すること。
  - 7 要中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。

別記様式第33 特定小規模施設用自動火災報知設備(その3)

備 考	予備電源・非常電源										
	自動	受信機の火災表示									
	試験	受信機の注意表示									
	機能	受信機・中継器の制御機能・電路									
		感知器									
	連動機能	感知器回路・ベル回路									
		無線機能									
	総 合 点 検										
	同時動作										
	※煙感知器等の感度										
地区音響装置の音圧											
※総 合 作 動											
機 器 名	型式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型式	校正年月日	製造者名	機 器 名	型式	校正年月日	製造者名
加熱試験器											
測定加圧試験器											
外部試験器											
機器											
機器											
機器											

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指置内容欄には、点検の要項目の内容を記入すること。
  - 6 自動試験機能を有するものにあつては、異常が発生した箇所の整備状況等を記載した書類を添付すること。
  - 7 要中※の欄は、自動試験機能を有するものにあつては記入不要。



別記様式第34 加圧防排煙設備（その2）

排煙出口		等				
加圧消火活動拠点	区画	区画の状況				
	開口部	開口部の状況				
通話装置	機	機能				
	電話	設置				
給気口	周囲の状況	形				
	機	性能				
給気用の風道	周囲の状況	形				
	外	支	防	接		
外	回	軸				
	軸	受	部			
機	動力伝達装置	能				
	機	性能				
電動機	制御盤	周囲の状況				
	表	形				
制御装置	電圧計・電流計	示				
	開閉器・スイッチ類	示	V	A		
制御装置	ヒューズ類	示		A		
	電線	示				
端子	接続地	等				
	子	等				
回転羽根	回転軸	軸				
	軸	受	部			
周囲の状況	形					
	機	性能				
空室	機	性能				

- 備考
- この目録の大きさは、日本建築規格A4とすること。
  - 種別、容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。

別記様式第34 加圧防排煙設備（その2）

排煙出口		等				
加圧消火活動拠点	区画	区画の状況				
	開口部	開口部の状況				
通話装置	機	機能				
	電話	設置				
給気口	周囲の状況	形				
	機	性能				
給気用の風道	周囲の状況	形				
	外	支	防	接		
外	回	軸				
	軸	受	部			
機	動力伝達装置	能				
	機	性能				
電動機	制御盤	周囲の状況				
	表	形				
制御装置	電圧計・電流計	示				
	開閉器・スイッチ類	示	V	A		
制御装置	ヒューズ類	示		A		
	電線	示				
端子	接続地	等				
	子	等				
回転羽根	回転軸	軸				
	軸	受	部			
周囲の状況	形					
	機	性能				
空室	機	性能				

- 備考
- この目録の大きさは、日本建築規格A4とすること。
  - 種別、容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の措置した内容を記入すること。



別記様式第34 加圧防排煙設備（その3）

耐震措置	排煙口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	給気口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	排煙口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	総 合 点 検										
	排気機	煙機									
	給電機	気機									
	電動機の運転電流	電流					A				
運転電圧	電圧										
回転速度	羽根										
空気開放状況	状況										
可動	壁										
備考											
備											
測定期機	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			

- 備考
- この目録の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 種別：空室等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択枚のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の祭措置した内容を記入すること。

別記様式第34 加圧防排煙設備（その3）

耐震措置	排煙口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	給気口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	排煙口の自動起動装置	手動	周囲の状況								
		外部表示									
	総 合 点 検										
	排気機	煙機									
	給電機	気機									
	電動機の運転電流	電流					A				
運転電圧	電圧										
回転速度	羽根										
空気開放状況	状況										
可動	壁										
備考											
備											
測定期機	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名			

- 備考
- この目録の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 種別：空室等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択枚のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 措置内容欄には、点検の祭措置した内容を記入すること。





別記様式第35 複合型居住施設用自動火災報知設備(その3)

自動試験機能	予備電源・非常電源				
	受信機の火災表示				
	受信機の注意表示				
	受信機・中継器の制御機能・電路				
	感知機				
	感知器				
	感知器回路・ベル回路				
	連動機能				
	無線機能				
	同時動作	総	合	点	検
※煙感知器等の感度					
※地区音響装置の音圧					
※総合動作					
備考	<p>機器名 型式 校正年月日 製造者名</p> <p>加熱試験器</p> <p>加煙試験器</p> <p>外部試験器</p> <p>感知器</p> <p>感知器回路・ベル回路</p> <p>減光フィルター</p>				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指図内容欄には、点検の検閲した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記載した書類を添付すること。
  - 票中央部の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第35 複合型居住施設用自動火災報知設備(その3)

自動試験機能	予備電源・非常電源				
	受信機の火災表示				
	受信機の注意表示				
	受信機・中継器の制御機能・電路				
	感知機				
	感知器				
	感知器回路・ベル回路				
	連動機能				
	無線機能				
	同時動作	総	合	点	検
※煙感知器等の感度					
※地区音響装置の音圧					
※総合動作					
備考	<p>機器名 型式 校正年月日 製造者名</p> <p>加熱試験器</p> <p>加煙試験器</p> <p>外部試験器</p> <p>感知器</p> <p>感知器回路・ベル回路</p> <p>減光フィルター</p>				

- 備考
- この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
  - 種別・容量等の内容は、該当するものについて記入すること。
  - 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 指図内容欄には、点検の検閲した内容を記入すること。
  - 自動試験機能を有するものについては、異常の発生状況、異常が発生した箇所の整備状況等を記載した書類を添付すること。
  - 票中央部の欄は、自動試験機能を有するものについては記入不要。

別記様式第36

特定駐車場用泡消火設備点検票

(その1)

名称				防火管理者	
所在				防火管理者立会者	
点検種別	機器・総合	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日	TEL	
点検者	氏名	点検者所属会社	住所	TEL	
					社名
点検設備名	ポンプ	製造者名 型式等	電動機 型式等	製造社名 型式等	
					点検結果
点検項目					
貯水		水量	種別	判定	
給水		水量	m <sup>3</sup>		
給水装置		水量			
圧力計		圧力			
バルブ		種類			
周囲の状況		形状			
電圧計・電流計		電圧計	V	A	
開閉器・スイッチ類		ヒューズ類	A		
継電器		表示			
結線接続		地			
予備品等					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36

特定駐車場用泡消火設備点検票

(その1)

名称				防火管理者	
所在				防火管理者立会者	
点検種別	機器・総合	資格番号	点検年月日	年 月 日 ~ 年 月 日	TEL
点検者	氏名	点検者所属会社	住所	TEL	
					資格番号
点検設備名	ポンプ	製造者名 型式等	電動機 型式等	製造社名 型式等	
					点検結果
点検項目					
貯水		水量	種別	判定	
給水		水量	m <sup>3</sup>		
給水装置		水量			
圧力計		圧力			
バルブ		種類			
周囲の状況		形状			
電圧計・電流計		電圧計	V	A	
開閉器・スイッチ類		ヒューズ類	A		
継電器		表示			
結線接続		地			
予備品等					

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36

特定自動車用消防火設備（その2）

起動装置	起動用水圧閉装置	圧スイッチ	設定圧力	MPa			
		起動用圧力タンク		MPa			
加圧装置	火災感知装置	機能	作動圧力	MPa			
		感知器	専用 兼用				
電動機	外部	外形					
		回転軸					
		受部					
		継手					
		機能					
		外部					
		回転軸					
		受部					
		グラフ部					
		連続計・圧力計					
ポンプ	性能	圧力	MPa				
		流量	L/min				
		吸入	L				
		吐出					
水装置	バルブ類						
	自動給水装置						
	減水警報装置						
性能試験装置	フュート弁						
高圧	水力水槽方式						

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36

特定自動車用消防火設備（その2）

起動装置	起動用水圧閉装置	圧スイッチ	設定圧力	MPa			
		起動用圧力タンク		MPa			
加圧装置	火災感知装置	機能	作動圧力	MPa			
		感知器	専用 兼用				
電動機	外部	外形					
		回転軸					
		受部					
		継手					
		機能					
		外部					
		回転軸					
		受部					
		グラフ部					
		連続計・圧力計					
ポンプ	性能	圧力	MPa				
		流量	L/min				
		吸入	L				
		吐出					
水装置	バルブ類						
	自動給水装置						
	減水警報装置						
性能試験装置	フュート弁						
高圧	水力水槽方式						

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36

特定自動車用消火設備（その3）

減圧のための措置等	管・管継手						
	支持金具・つり金具						
	パルゾ過装位置						
	逃し配管						
	流水検知装置二次側配管 （千作動式のものに限る。）						
	末端試験弁						
	混合装置試験弁						
	標識						
	消火薬剤貯蔵槽						
	消火薬剤計						
泡火薬剤貯蔵槽等	圧力計						
	パルゾ類						
	外形						
	泡火薬剤混合装置						
泡火薬剤貯蔵槽及び圧送装置	加圧送液装置						
	外形						
	感知障害						
	放射障害						
閉鎖液へット等	未警戒部分						
	適応						
	外形						
	開放射障害						
開放型泡	未警戒部分						
	外形						
	放射射障害						
	感知障害						
感知継手等	未警戒部分						
	適応						
	外形						
	感知継手等						

備考 1 この用紙の大きさは、日本標準規格A4とする。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 追加取付のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第35

特定自動車用消火設備（その3）

減圧のための措置等	管・管継手						
	支持金具・つり金具						
	パルゾ過装位置						
	逃し配管						
	流水検知装置二次側配管 （千作動式のものに限る。）						
	末端試験弁						
	混合装置試験弁						
	標識						
	消火薬剤貯蔵槽						
	消火薬剤計						
泡火薬剤貯蔵槽等	圧力計						
	パルゾ類						
	外形						
	泡火薬剤混合装置						
泡火薬剤貯蔵槽及び圧送装置	加圧送液装置						
	外形						
	感知障害						
	放射障害						
閉鎖液へット等	未警戒部分						
	適応						
	外形						
	開放射障害						
開放型泡	未警戒部分						
	外形						
	放射射障害						
	感知障害						
感知継手等	未警戒部分						
	適応						
	外形						
	感知継手等						

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 追加取付のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36 特定駐車場用泡消火設備（その4）

流水検査装置	バルブ本体等	MPa			
	リターディング・チャージバルブ				
減圧警報装置	圧力スイッチ	設定圧力 MPa	作動圧力 MPa		
	音響警報装置・表示装置				
泡ヘッド	減圧警報装置				
	外形				
耐震措置	泡放出口障害				
	未警戒部分				
制御盤	周囲の状況				
	外形				
	電圧計				
	表示				
	予備品等				
	スイッチ類				
	ヒューズ類				
表					
結線					
接地					
子備電源及び非常電源	電源の自動 切替機能				
	端子配・容量				

- 備考
- 1 この月紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第36 特定駐車場用泡消火設備（その4）

流水検査装置	バルブ本体等	MPa			
	リターディング・チャージバルブ				
減圧警報装置	圧力スイッチ	設定圧力 MPa	作動圧力 MPa		
	音響警報装置・表示装置				
泡ヘッド	減圧警報装置				
	外形				
耐震措置	泡放出口障害				
	未警戒部分				
制御盤	周囲の状況				
	外形				
	電圧計				
	表示				
	予備品等				
	スイッチ類				
	ヒューズ類				
表					
結線					
接地					
子備電源及び非常電源	電源の自動 切替機能				
	端子配・容量				

- 備考
- 1 この月紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。



別記様式第36

特定自動車用消火設備（その5）

総合点検	
起動性能等	
放射圧力	MPa
希釈容量濃度	%
発泡倍率	倍
2.5%還元時間	Sec

備考

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指圖内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第35

特定自動車用消火設備（その5）

総合点検	
起動性能等	
放射圧力	MPa
希釈容量濃度	%
発泡倍率	倍
2.5%還元時間	Sec

備考

機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名
測定機器							

- 備考
- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 2 種別・容量等の内容欄は、該当するものについて記入すること。
  - 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は×印を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
  - 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
  - 5 指圖内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

附 則

1 この告示は、公布の日から施行する。ただし、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改める部分は、平成三十一年七月一日から施行する。

2 この告示による改正後の消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検票の様式別記様式第一から第三十六までに規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成三十一年九月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。

○消防庁告示第六号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の六第四項の規定に基づき、平成十六年消防庁告示第九号（消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に依じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式）の一部を次のように改正する。

平成三十一年四月十八日

消防庁長官 黒田武一郎

次の表により、改正前欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の破線で囲んだ部分のように改める。

改正後

改正前

別記様式第1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

年 月 日

消防長（消防署長）（市町村長） 殿  
 届出者  
 住 所  
 氏 名  
 電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。  
 記

所在地	
防火対象物	
名称	
用途	
規模	地上 階 地下 階 延べ面積 m <sup>2</sup>

消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等	
※受付欄	※経過欄
	※備考

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 点検者が建築の検査又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。  
 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。  
 4 ※印刷欄は、記入しないこと。

別記様式第1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書

年 月 日

消防長（消防署長）（市町村長） 殿  
 届出者  
 住 所  
 氏 名  
 電話番号

下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。  
 記

所在地	
防火対象物	
名称	
用途	
構造・規模	地上 階 地下 階
床面積	m <sup>2</sup> 延べ面積 m <sup>2</sup>
点検期間	年 月 から 年 月 まで（ 年 月 から 年 月 まで）

消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等	
点検票	別添のとおり
住所	
氏名	
電話番号	
種類等	種類等
消防設備士	種類等
甲種	交付年月日
乙種	交付番号
再講習受講状況	再講習受講年月
消防設備点検資格者	特・第1・第2種
※受付欄	※経過欄
	※備考

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 点検者が建築の検査又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、別記様式第3に記入し、添付すること。  
 3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。  
 4 ※印刷欄は、記入しないこと。  
 5 点検期間のうち、消防用設備等と同時に特殊消防用設備等を点検する場合、その点検期間を（ ）へ記入すること。  
 6 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合においては、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告表

(その1)

名称	防火管理者	所在地	点検実施責任者	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日	設備名	点検結果		措置内容	立会者
							判定	不良内容		
点検種別 <small>(機器点検・総合点検・設備等設置維持計画による点検)</small>				点検年月日	年 月 日～ 年 月 日					
							良・不良			
							良・不良			
							良・不良			
							良・不良			
							良・不良			
							良・不良			

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 3 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告表

(その1)

名称	防火管理者	所在地	点検実施責任者	点検年月日	年 月 日～ 年 月 日	設備名	点検結果		措置内容	立会者
							判定	不良内容		
点検種別 <small>(機器点検・総合点検・設備等設置維持計画による点検)</small>				点検年月日	年 月 日～ 年 月 日					
							良・不良			印
							良・不良			印
							良・不良			印
							良・不良			印
							良・不良			印
							良・不良			印

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 3 措置内容欄には、点検の要措置した内容を記入すること。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その2)

設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			
	良・不良			

備考 1 この用紙の大きさとは、日本工業規格A4とすること。  
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第2

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果総括表

(その2)

設備名	点検結果		措置内容	立会者
	判定	不良内容		
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印
	良・不良			印

備考 1 この用紙の大きさとは、日本工業規格A4とすること。  
 2 判定欄は、正常の場合は「良」に、不良の場合は「不良」に○印を付し、不良内容欄にその内容を記入すること。  
 3 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

住所		点 検 者		設 備 名
住所	氏名	電話番号		
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講年月	
甲種	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 1 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 2 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 3 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 4 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 5 類	年 月 日		年 月 月	
乙種 6 類	年 月 日		年 月 月	
乙種 7 類	年 月 日		年 月 月	
備考				
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	有効期限	
特 1 種	年 月 日		年 月 日	
第 2 種	年 月 日		年 月 日	

住所		点 検 者		設 備 名
住所	氏名	電話番号		
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講年月	
甲種	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 1 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 2 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 3 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 4 類	年 月 日		年 月 月	
甲・乙種 5 類	年 月 日		年 月 月	
乙種 6 類	年 月 日		年 月 月	
乙種 7 類	年 月 日		年 月 月	
備考				
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	有効期限	
特 1 種	年 月 日		年 月 日	
第 2 種	年 月 日		年 月 日	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。こと。  
 2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合に、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。  
 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。  
 4 消防隊及び消防団の点検を実施した者は、備考欄に電気工事士法（昭和36年法律第139号）第3条に規定する電気工事士免許又は電気事業法（昭和39年法律第170号）第44条第1項に規定する第一種電気主任技術者免許、第二種電気主任技術者免許もしくは第三種電気主任技術者免許のいずれかの免許の種類、交付番号及び交付年月日を記載すること。（第二種消防設備点検資格者の免許の交付を受けている者を除く。）

別記様式第3

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検者一覧表

住所		点 検 者		設 備 名
住所	氏名	電話番号		
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講状況	
消防設備士	年 月 日		受講地 受講年月	
甲種	年 月 日		講習 年 月	
乙種	年 月 日		府県 年 月	
再講習受講状況	交付年月日		受講年月	
種類	年 月 日		年 月 月	
特 1 種	年 月 日		年 月 月	
消防設備点検資格者	第 1 種	年 月 日	年 月 月	
	第 2 種	年 月 日	年 月 月	
備考				
住所				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講状況	
消防設備士	年 月 日		受講地 受講年月	
甲種	年 月 日		講習 年 月	
乙種	年 月 日		府県 年 月	
再講習受講状況	交付年月日		受講年月	
種類	年 月 日		年 月 月	
特 1 種	年 月 日		年 月 月	
消防設備点検資格者	第 1 種	年 月 日	年 月 月	
	第 2 種	年 月 日	年 月 月	

住所		点 検 者		設 備 名
住所	氏名	電話番号		
資格				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講状況	
消防設備士	年 月 日		受講地 受講年月	
甲種	年 月 日		講習 年 月	
乙種	年 月 日		府県 年 月	
再講習受講状況	交付年月日		受講年月	
種類	年 月 日		年 月 月	
特 1 種	年 月 日		年 月 月	
消防設備点検資格者	第 1 種	年 月 日	年 月 月	
	第 2 種	年 月 日	年 月 月	
備考				
住所				
種類等	交付年月日	交付番号	講習受講状況	
消防設備士	年 月 日		受講地 受講年月	
甲種	年 月 日		講習 年 月	
乙種	年 月 日		府県 年 月	
再講習受講状況	交付年月日		受講年月	
種類	年 月 日		年 月 月	
特 1 種	年 月 日		年 月 月	
消防設備点検資格者	第 1 種	年 月 日	年 月 月	
	第 2 種	年 月 日	年 月 月	

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。こと。  
 2 住所、社名及び電話番号の欄は、点検者が会社（会社以外の法人に所属する場合は当該法人）に所属する場合に、当該所属する会社の住所、社名及び電話番号を記入すること。  
 3 資格の欄は、消防設備士又は消防設備点検資格者の種類等、交付年月日、交付番号、交付機関、最新の講習受講年月、有効期限を記載すること。

附 則

1 この告示は、公布の日から施行する。ただし、「日本工業規格」を「日本産業規格」に改める部分は、平成三十一年七月一日から施行する。

2 この告示による改正後の消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式別記様式第一から第三までに規定する様式は、前項の規定にかかわらず、平成三十一年九月三十日までの間は、なお従前の例によることができる。